

第5次香芝市総合計画及び第2期総合戦略の進捗管理 (個別事業の方向性の検討)について

1. 進捗管理の方法について

政策・施策及び事業の実施内容について、指標等を用いて客観的に評価することにより、「事業の現状を認識し、課題の発見につなげ、改善案を考える」というPDCAサイクルのもと、毎年度行政評価を実施します。

2. 行政評価のながれについて

以下のとおり、事前記入・事中評価・事後評価の3回実施

6月 <事前記入>

…「事業の実施計画」および「目標値」の設定

目的 事業の位置づけ・目的の確認、実施内容・指標設定の検討

6月下旬 都市経営市民会議で報告

10月下旬 <事中評価>

…3視点評価(必要性・有効性・効率性)による今後の方向性(成果・コスト)の決定

目的 事業の進捗確認、課題整理・改善点の分析、次年度の事業計画と必要予算の検討

11月下旬 都市経営市民会議で審議

1月 <事後評価>

…事業の実績評価、成果・課題点の分析

目的 事業の実績確認、最終的な次年度の方向性の決定

2月 都市経営市民会議で審議

4月 行政評価の公表(市ホームページ)

3. 評価対象事業について

第5次香芝市総合計画に記載している33の施策、および施策ごとに紐づけた各事業(111事業)を評価対象とします。

◎令和5年度 行政評価 進捗管理シート 目次

政策	ページ	施策	主な取り組み	事業数	
未来を創造する子どもたちのために。 (子育て・教育)	1	妊娠前から乳幼児期の切れ目ない支援	①妊産婦の健康づくりの推進	1事業	
			②乳幼児の健康づくりの推進	3事業	
	2	子育て支援の充実	①子育て家庭への支援	2事業	
			②児童虐待防止の推進	1事業	
	3	就学前教育・保育の充実	①就学前教育・保育の推進	2事業	
②就学前教育・保育環境の整備			1事業		
4	学校教育の充実	①学びの推進・支援	2事業		
		②安心して学べる教育環境の整備	2事業		
5	家庭・地域・学校の連携	①地域ぐるみの子ども支援	3事業		
		②青少年の健やかな育成	2事業		
健康で自分らしく過ごせる毎日のために。 (健康・福祉)	6	地域福祉の推進	①総合的な福祉サービスの提供	1事業	
			②地域で支え合う仕組みづくり	1事業	
	7	医療提供体制の充実	①地域医療体制の充実	1事業	
			②感染症対策の推進	2事業	
	8	健康づくりの推進	①健康的な生活習慣の推進	3事業	
			②心の健康づくりの推進	2事業	
9	高齢者福祉の充実	③望ましい食生活の定着推進	1事業		
		①自立支援・介護予防・重度化防止の推進	1事業		
10	障がい者福祉の充実	②日常生活を支援する体制の整備	3事業		
		③介護保険給付の適正化	1事業		
11	生活困窮者支援の充実	①障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり	1事業		
		①生活困窮者への相談支援・就労支援の充実	1事業		
誰もが等しく、生涯輝き続けるために。 (人権・協働・文化)	12	人権・多様性の尊重	①人権啓発の推進と学習機会の提供	1事業	
			②男女共同参画によるまちづくりの推進	1事業	
	13	地域コミュニティの醸成・活性化	①自治会活動の支援	1事業	
			②市民公益活動団体の支援	1事業	
	14	文化芸術の振興・多文化共生	①文化の発信・創造・交流の支援	2事業	
			②多文化理解と国際交流の推進	1事業	
15	生涯学習とスポーツ活動の充実	①生涯学習機会の充実	1事業		
		②スポーツ活動の充実	1事業		
16	歴史文化財の保存と継承・展開	③図書館機能の充実	2事業		
		①二上山博物館機能の充実	1事業		
17	商工業の振興	②文化財の保護・啓発	2事業		
		①企業の活性化	1事業		
18	農業の振興	②創業の促進	1事業		
		①農業体制の整備および市内農作物の魅力創造	2事業		
19	観光の振興	①観光情報の発信	1事業		
		②観光資源の魅力向上	1事業		
まちの活力と魅力の向上のために。 (産業・観光)	20	災害対策の強化	①災害時緊急体制の確立	2事業	
			②防災・減災対策の強化	3事業	
			③消防団体制の充実	1事業	
5	生活安全対策の強化	交通安全対策の強化	④自主防災力の向上	1事業	
			①防犯意識の向上	1事業	
			②消費者保護の推進	1事業	
22	交通安全対策の強化		①交通安全対策の推進	3事業	
			②交通安全施設の整備	1事業	
23	環境問題への取り組み強化		①ごみ減量と資源化の推進	1事業	
			②環境保全対策の推進	2事業	
自然と調和した快適で便利な暮らしのために。 (自然・環境・都市基盤)	24	自然環境・景観の保全		4事業	
				①美しい自然環境・景観の保全	4事業
	25	良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成		①良好な市街地の形成	1事業
				②持続可能な地域公共交通の確立	1事業
	26	生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実		③地域拠点としての駅周辺整備	1事業
				①公園整備の推進	3事業
	27	道路整備の充実		②バリアフリー化の推進	3事業
③幹線道路の整備				1事業	
28	上水道の基盤強化		②生活道路等の安全性の確保	3事業	
			①安心、安全、安定した水道の供給	1事業	
29	下水道の整備		②健全な水道事業の運営	1事業	
			①下水道の整備・更新	1事業	
30	行財政運営の最適化		②水洗化の促進	1事業	
			③持続的な下水道機能の確保	1事業	
スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31	歳入の確保と財源の創出		1事業	
				①総合計画・総合戦略の進行管理	1事業
	32	情報とICTの利活用		②財政運営の健全化	-
				③公有財産の維持管理及び活用	1事業
33	行政組織の活性化・組織力の強化		①適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	3事業	
			②財産調査の強化と適正な債権管理	2事業	
33	行政組織の活性化・組織力の強化		③自主財源の確保	1事業	
			①市政情報の提供と広報力の強化	2事業	
33	行政組織の活性化・組織力の強化		②ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上	1事業	
			③情報セキュリティの確保	1事業	
33	行政組織の活性化・組織力の強化		①適正な人事評価	1事業	
			②職員研修の推進	1事業	
33	行政組織の活性化・組織力の強化		③効果的な人員配置	2事業	
			③効果的な人員配置	2事業	
事業数 合計				111事業	

4. 事中評価結果

<3視点評価(所管自己評価)の結果分布>

	低い (0-50点)	やや低い (51-65点)	やや高い (66-85点)	高い (86-100点)
必要性	1事業	3事業	49事業	58事業
有効性	1事業	8事業	78事業	24事業
効率性	0事業	2事業	61事業	48事業

全111事業



	「低い」または「やや低い」と評価された事業	
必要性	4事業	3.6%
有効性	9事業	8.1%
効率性	2事業	1.8%

※必要性と効率性で、1事業が重複。

◎必要性が「低い」または「やや低い」と評価された事業

必要性とは・・・

事業開始時と比較して社会環境や市民ニーズの変化に対応しているか、市民や民間企業との役割分担は適正であるかなどの観点から、市が事業を行うことについて妥当であるか。

政策-施策	事業名	必要性の点数	評価に影響した評価項目
1-5	青少年体験交流事業	59点	影響度・主体性
1-5	青少年健全育成事業	59点	影響度・主体性
3-14	文化施設管理・運営事業	64点	量的適正性・主体性
3-15	生涯学習機会提供事業	43点	需要度・影響度・主体性・緊急性

(参考)

影響度・・・市民の生活や市政の満足度への影響(事業を取りやめた場合に影響があるか)

主体性・・・国・県・民間・他の部局等における類似事業の実施状況

量的適正性・・・需要に対する事業の成果やサービスの供給量

需要度・・・事業に対する市民ニーズ

緊急性・・・事業の緊急性

◎有効性が「低い」または「やや低い」と評価された事業

有効性とは・・・

総合計画の体系から、事業の成果とその上位施策の目標達成に結びついているか、目標がどの程度達成されているか。

政策-施策	事業名	有効性の点数	評価に影響した評価項目
1-4	教育相談支援事業	50点	達成度(単年)・達成度(長期)
1-5	学校・地域パートナーシップ事業	56点	達成度(単年)・達成度(長期)・実現性
2-8	医療費適正化事業	55点	達成度(単年)・達成度(長期)
4-17	企業支援事業	59点	達成度(単年)・達成度(長期)
4-17	創業促進事業	59点	達成度(単年)・達成度(長期)
5-21	防犯意識啓発事業	62点	達成度(単年)・達成度(長期)
6-26	香芝市スポーツ公園整備事業	62点	達成度(単年)・達成度(長期)
6-26	既存道路バリアフリー化事業	55点	達成度(単年)・達成度(長期)
7-32	情報セキュリティ対策事業	64点	達成度(単年)・達成度(長期)

(参考)

達成度(単年)・・・評価指標の単年度目標に対する達成状況

達成度(長期)・・・評価指標の最終目標(R6目標値)に対する達成状況

実現性・・・事業の将来的な理想形や目標とする姿に対する事業の進捗状況

◎効率性が「低い」または「やや低い」と評価された事業

効率性とは・・・

投入したコスト(費用や時間)に見合った成果が上がっているか、実施方法が効率的に行われているか。

政策-施策	事業名	効率性の点数	評価に影響した評価項目
2-9	介護予防支援事業	64点	生産性・コスト効率(人件費)
3-14	文化施設管理・運営事業	56点	生産性・コスト効率(事業費)・事務効率性

(参考)

生産性・・・成果の最大化のための実施方法や手法の工夫(事業の実施方法や内容の見直しによって、さらなる成果の向上を図ることができるか)

コスト効率(人件費)・・・投入コスト(人件費)に対する効率性(成果を維持したまま、人件費をより削減できるか)

コスト効率(事業費)・・・投入コスト(事業費)における効率性(成果を維持したまま、コストがより削減できるか)

事務効率性・・・事務効率向上のための手法の導入(電子化や業務委託等を導入し、業務の効率化を図っているか)

<成果・コストの方向性の各判断における事業数>

◎成果の方向性

評価項目		事業数
拡充	今年度以上に成果を拡充する場合	22 事業
現状維持	今年度と同等の成果を維持する場合	89 事業
縮小	「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で、事業を縮小する場合	0 事業
休廃止	「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で、事業を休止または廃止する場合	0 事業

◎コストの方向性

評価項目		事業数
拡大	予定よりもコストを拡大する場合	20 事業
現状維持	今年度と同等のコストを維持する場合	91 事業
縮小	①「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で、事業を縮小する場合 ②「民間委託」「市民協働」等の導入により、コストが縮減できる場合	0 事業
休廃止	上記①の理由等で、事業を休止または廃止する場合	0 事業

令和5年度行政評価進捗管理シート

<進捗管理シートの見方>

事前記入
 事中評価
 事後評価
 自動反映

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 28-29 ページ)

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	1 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

★目指す姿

いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。



■ 施策の主な取り組み

① 妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

■ 実施する主な事業

No	名称	概要	担当部署
①-1	妊婦出産包括支援事業	妊娠・子育て・出産に関する各種相談・助産・教室を実施します。また、全妊婦に対して支援プログラムを実施し、特に支援を必要とされる乳児に保健支援や相談支援を提供しています。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画目標				今年度の進捗				担当部署		
			(R1)	R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(12月末)		目標達成率(%)	目標達成率(前年度比)
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで満足度を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	100	99.5					0.0%	健康部 保健センター
産後4か月時点において寄附市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21(母乳育児-アンケート))で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100	95.3					0.0%	健康部 保健センター

② 乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、育児支援、病気の予防の未然防止、早期発見に努めます。

■ 実施する主な事業

No	名称	概要	担当部署
②-1	乳幼児健診事業	乳幼児の誕生日の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達の確認を行います。	●
②-2	乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、遊びの教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。	●
②-3	こんには赤ちゃん事業	産後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画目標				今年度の進捗				担当部署		
			(R1)	R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値(9月末)	実績値(12月末)		目標達成率(%)	目標達成率(前年度比)
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6	98.4					0.0%	健康部 保健センター
こんには赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/生後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100	99.6					0.0%	福祉部 児童福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No	事業名	今年度の事業評価				今後の方向性				担当部署
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3観点	方向性の内容(改善策)	3観点評価	方向性の内容(改善策)	3観点評価		
①-1	妊婦出産包括支援事業									健康部 保健センター
②-1	乳幼児健診事業									健康部 保健センター
②-2	乳幼児相談及び教室事業									健康部 保健センター
②-3	こんには赤ちゃん事業									福祉部 児童福祉課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 事業	拡充 ○ 事業 拡大 ○ 事業	
B 事業	現状維持 ○ 事業 現状維持 ○ 事業	
C 事業	縮小 ○ 事業 縮小 ○ 事業	
	休廃止 ○ 事業 休廃止 ○ 事業	

【担当課評価】
 A: 順調に進捗しており、継続して事業を推進する
 B: 進捗が遅れており、改善しながら継続して事業を推進する
 C: 進捗状況が悪く、事業の見直しを要する

【成果の方向性】
 ・拡充 ……今年度以上に成果を拡充する場合
 ・現状維持 ……今年度と同等の成果を維持する場合
 ・縮小 ……「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で事業を縮小する場合
 ・休廃止 ……「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で事業を休止または廃止する場合

【コストの方向性】
 ・拡大 ……予定よりもコストを拡大する場合
 ・現状維持 ……今年度と同等のコストを維持する場合
 ・縮小 ……①「費用対効果が低い」「市が実施する必要性がない」等の理由で事業を縮小する場合
 ②「民間委託」「市民協働」等の導入により、コストが削減できる場合
 ・休廃止 ……上記①の理由等で、事業を休止または廃止する場合

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	1 妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援

☆ 目指す姿

いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。



■ 施策の主な取り組み

① 妊産婦の健康づくりの推進

母子の健康管理をサポートすることで、安心して妊娠・出産・育児ができるよう支援します。また、不妊・不育症に悩む家族への支援を行います。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
プレママ教室(母親教室)参加満足度	%	プレママ教室参加者アンケートで「満足度」を80%以上と回答した人数/全回答者数	98.5	100	100	100
産後4か月の時点において香芝市で今後子育てしていきたい人の割合	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人数/全回答者数	96.2	100	100	100

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	妊娠出産包括支援事業	妊娠・子育て・育児に関する各種相談・訪問・教室等を実施します。また、全妊婦に対して支援プランを作成し、特に支援を必要とされる方には電話支援や個別訪問等を継続して行います。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
99.1	100	100		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
95.1	100	95.0		0.0%	0.0%	健康部 保健センター

② 乳幼児の健康づくりの推進

乳幼児健診、家庭訪問等を実施し、乳幼児にかかる母子の健康づくりを推進するとともに、子育て不安の解消、養育支援、病気や虐待の未然防止、早期発見に努めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
乳幼児健診受診率	%	各健診受診者数/4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診対象者数	97.2	98.2	98.4	98.6
こんには赤ちゃん訪問率	%	訪問世帯数/産後4か月までの子どもがいる世帯数	86.7	100	100	100

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	乳幼児健診事業	乳幼児の節目の年齢(4か月・1歳6か月・3歳6か月)において健診を実施し、成長・発達の確認を行います。	●
②-2	乳幼児相談及び教室事業	乳幼児期に関する相談のほか、歯がけ教室、離乳食教室、子育て交流会等を行います。	●
②-3	こんには赤ちゃん事業	産後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問します。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問します。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
98.3	99.0	98.2		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
99.1	100	99.3		0.0%	0.0%	福祉部 児童福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	妊娠出産包括支援事業 ・出産・子育て応援事業を活用し、妊娠からの切れ目ない支援体制の充実を図る。 ・産後ケア事業の利用施設の拡充により、住民の利便性及び支援体制の充実を図る。							95
		90	現状維持					
		90	現状維持					
②-1	乳幼児健診事業 ・母子保健法に基づく乳幼児健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなぐとともに、支援が必要な乳幼児には個別支援を実施する。 ・未受診者の現状を確認し虐待の疑いがある場合は、関係部署と連携する。			100	現状維持	・母子保健法に基づき乳幼児健診を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなぐとともに、乳幼児健診未受診者に対しては、関係機関と連携し、虐待等のリスク評価を実施し、虐待予防に努めるよう継続支援していく。 ・乳幼児健診事業のコストについては、必要な職種・人員で実施しており、現状維持とする。(成果の現状維持・コストの現状維持)	健康部 保健センター	
				85	現状維持			
				90	現状維持			
②-2	乳幼児相談及び教室事業 ・専門性を活かした個別支援や、乳幼児の年齢に応じた保護者に対する集団教室を実施することにより、保護者の不安軽減を図る。			95	現状維持	・乳幼児相談や栄養相談、乳幼児に関する各教室にて、専門職が知識の普及や個別相談・指導を行うことで、育児不安の軽減を図り、安心して子育てができることに繋がっているため、現状の事業を継続実施する。(成果の現状維持) ・各相談・教室の事業のコストについては、必要な職種・人員・消耗品等で実施しており、次年度も現状維持とする。(コストの現状維持)	健康部 保健センター	
				85	現状維持			
				82	現状維持			
②-3	こんには赤ちゃん事業 ・乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行う。 ・母子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービスの提供に繋げる。 ・特に養育が必要な家庭や児童虐待のリスクの高い家庭に対して、養育支援訪問(専門的支援・家事支援)に繋ぎ、継続した支援を実施する。 ・訪問拒否の家庭に対して、4か月児健診で家庭の事情を把握する。			100	現状維持	・出生数の減少に伴い訪問数は減少傾向ではあるが、引き続き全戸訪問を実施し、養育環境の把握・子育て情報の提供を行っていく。 ・訪問の結果、支援が必要な家庭に対しては積極的に養育支援訪問を実施し、伴走的支援を行うことで児童虐待の未然防止を図る。 (成果の現状維持・コストの現状維持)	福祉部 児童福祉課	
				100	現状維持			
				80	現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	事業
B	事業
C	事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	2 子育て支援の充実

★ 目指す姿

地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができていく。



■ 施策の主な取り組み

① 子育て家庭への支援

子育てに関する経済的・精神的な負担や不安を軽減するために、子育て支援拠点の機能の充実、子育て相談、相互協力の仕組みづくり、情報提供、助言等さまざまな取り組みを推進し、一人ひとりのニーズに合ったサービスにつなげます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者がつどえる場を確保するとともに、育児コーディネーターが巡回し、子育て相談等を行います。また、4か月児への絵本配布(ブックスタート)、相互協力の仕組みづくり(ファミリーサポート)等を行います。	●
①-2	ひとり親家庭相談・支援事業	相談窓口を設置し、助言・支援を行うほか、教育訓練講座の受講及び、資格取得の促進等のための補助を行います。また、自立支援プログラムを策定して、ハローワークと連携し、就労までをサポートします。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
3つの子育て支援拠点で開催する行事の参加率	%	参加者数/3つの子育て支援拠点で年1回ずつ開催する行事の定員総数	72.5	100	100	100
ファミリー・サポート・センター新規登録者数	人	ファミリーサポートセンターの利用会員・サポート会員の新規登録者数	49	50	50	50
自立支援プログラム策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数/就労を目標とした自立支援プログラムの策定件数	0	100	100	100

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
93.9	100	86.1		0.0%	福祉部 児童福祉課
43	75	32		0.0%	福祉部 児童福祉課
0	50	0		0.0%	福祉部 児童福祉課

② 児童虐待防止の推進

香芝市要保護児童対策地域協議会が中心となり、関係機関と連携して、児童虐待の未然防止、早期発見に努めます。また、相談窓口について広く周知し、地域全体で児童虐待を見逃さない取り組みを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	家庭児童相談・支援事業	関係機関連携のもと、支援検討会議等を実施。対象児童の支援プランを作成し、継続した訪問等の支援を行います。	●

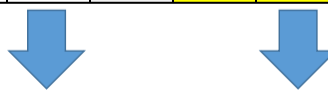
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
児童虐待防止の啓発回数	回	広報誌等による啓発回数	14	15	15	15
児童虐待終結率	%	香芝市要保護児童対策協議会において終結と判断されたケース/虐待として管理しているケース	61	70	70	70

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
31	31	7		0.0%	福祉部 児童福祉課
54	65	20		0.0%	福祉部 児童福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当部署
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	地域子育て支援拠点事業						
				85			
				75	拡大		
①-2	ひとり親家庭相談・支援事業			90	現状維持	福祉部 児童福祉課	
				77			
				82	現状維持		
②-1	家庭児童相談・支援事業			100	拡充	福祉部 児童福祉課	
				85			
				74	拡大		



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 2 事業	拡大 2 事業
B 0 事業	現状維持 1 事業	現状維持 1 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休止 0 事業	休止 0 事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	3 就学前教育・保育の充実

★ 目指す姿

子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。



■ 施策の主な取り組み

① 就学前教育・保育の推進

幼稚園・保育所・認定こども園が連携し、健やかな育ちを保障する質の高い教育・保育を行うとともに、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスの充実を図ります。また、今後の子どもの人数の推移に合わせ、効果的・効率的な運営を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	延長保育や預かり保育などの保育サービスの実施、小規模保育施設の新設や市立幼稚園の認定こども園化による保育利用率の拡大、3年保育の拡充を進めます。また、園庭の開放や未就園児との交流等、地域の子育てをサポートする事業を実施します。	●
①-2	特別保育等補助事業	私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対して補助を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
保育所等の待機児童数	人	4月1日時点の保育所等利用待機児童数(厚生労働省の要領による)	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	福祉部 保育課
保育サービスの実施数	事業	4月1日時点において市立及び私立保育所・幼稚園・認定こども園で実施している延長保育・病児保育・一時預かり事業(一般型/幼稚園型)の数	46	49	51	51	53	55		0.0%	0.0%	福祉部 保育課
認定こども園の設置数	施設	4月1日時点の市内の認定こども園数(累計)	9	11	12	13	10	10	10	0.0%	0.0%	福祉部 保育課

② 就学前教育・保育環境の整備

子どもたちが安全・安心、快適に過ごせるよう、施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、時代のニーズに応じて施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を行います。また、状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管	
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)		目標達成度 (R6年度比)
保育所・幼稚園・認定こども園施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	3	5	5	1	1	0		0.0%	0.0%	教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業					・認定こども園新設に係る市場調査 ・延長保育・預かり保育等の保育サービスの実施 ・園庭開放、未就園児との交流などの地域の子育てサポートの実施		90
90								
72								
①-2	特別保育等補助事業	・私立の保育施設が行う園の整備や延長保育・一時預かり・病児保育など多様な保育サービスに対する補助の実施 ・民間保育所等保育士確保対策の実施		80	現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・民間保育所等保育士確保対策について、民間園の保育士が増える見込みであり、その分の来年度の補助額が増えるため、予算措置は必要と考えられるが、受動的な理由であるため、拡充とはしない。 ・民間保育所等保育士確保対策については、この施策によって民間保育施設において保育士が確保できたかどうか、効果測定する必要がある。	福祉部 保育課	
85								
100								
②-1	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	・認定こども園三和幼稚園公共下水道接続工事 ・真美ヶ丘保育所長寿命化工事(2カ年) ・遊具改修工事(五位堂幼・認こ園下田幼・若葉保) ・各幼稚園・保育所・認定こども園施設改修工事 ・各幼稚園・保育所・認定こども園遊具整備工事		95	現状維持	・真美ヶ丘保育所長寿命化工事についてR5～R6で工事施工を実施している。 ・老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 ・個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課	
75								
85								

■ 施策の方向性(改善策)

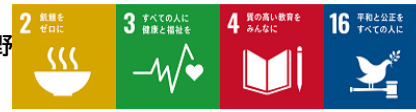
次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	4 学校教育の充実

★ 目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学が意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容(読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等)の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。	●
①-2	教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境(特別支援教育・教育相談)を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2
国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で「好き」と回答した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習状況調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校6年生・中学校3年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数/全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	67.0

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
83.0	84.0	80.9		0.0%	教育部 学校支援室
56.0	63.0	55.6		0.0%	教育部 学校支援室
62.0	66.0	63.0		0.0%	教育部 学校支援室
86.3	90.0	-		0.0%	教育部 学校支援室

② 安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●
②-2	中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数(令和2年度からの累計)	0	0	10	19
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数(累計)/改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
0	1	0		0.0%	教育部 教育総務課
59.1	65.2	65.2		0.0%	教育部 教育総務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	学力向上推進事業			90	現状維持	【成果の方向性】 教員の資質向上については、学校支援室主催の研修講座やアドバイザー訪問により、一層質の高い教育を行うように取組を続けていく。また、児童生徒のニーズに合った図書を充実させ、読書活動の効果を高める。 【コストの方向性】 現状の予算を有効に活用できるようにこれまでの執行や予算要望を精査していく。	教育部 学校支援室	
①-2	教育相談支援事業			100	拡充	【成果の方向性】 いずれの事業も、今後も継続していく必要がある。不登校や子どもの発達に悩みを抱えている保護者は増加傾向にあるため、カウンセラーの配当時間数を増やす。(525時間→555時間)また、学校や保護者の相談を受け、必要に応じて関係機関と連携を引き続き図るとともに、不登校等相談員を新たに配置し相談支援を拡大していく。 【コストの方向性】 相談は増加傾向にあり、カウンセリングの受入れに応じることができない状況である。成果の方向性に記載したように、スクールカウンセラーおよび不登校等相談員の予算を拡大する。	教育部 学校支援室	
②-1	小学校施設維持管理事業			95	現状維持	二上小学校長寿命化改修工事をR5~R7で実施。 下田小学校長寿命化改修工事に伴う設計業務について、現在設計中であり、来年度工事施工を予定している。 老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課	
②-2	中学校施設維持管理事業			95	現状維持	香芝中学校トイレ改修工事(Ⅱ期)については、完了。 老朽化している施設、設備の更新、施設整備などを順次実施する。 個別計画の更新を行いながら、計画を実施していく。	教育部 教育総務課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 1 事業	拡大 1 事業
B 0 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休止 0 事業	休止 0 事業

政策名	1 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策名	5 家庭・地域・学校の連携

★ 目指す姿

地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいそいそと活動している。



■ 施策の主な取り組み

① 地域ぐるみの子どもの支援

経験や専門性をもった地域の人材の参画を進め、家庭と地域と学校が効果的に連携を取り合い、地域ぐるみの教育力向上に取り組みます。また、児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるような居場所づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア参加者数	人	学校・地域パートナーシップ事業地域ボランティア年間延べ参加者数	35,695	36,000	38,000	40,000
学童保育所の待機児童数	人	5月1日時点の待機児童数	6	0	0	0

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	学校・地域パートナーシップ事業	既存の地域力を集約し、学校支援につなげる人材としてコーディネーターを配置し、地域ぐるみの学校づくりを行います。また、児童の体験・交流活動を行う放課後子ども教室や、生徒の通常学習の補完的な役割としての学習支援等を行う地域未来塾を実施します。	●
①-2	学童保育運営事業	学童保育所で安定した保育を提供できるよう、指定管理者制度による効果的・効率的な運営を行います。また、保育ニーズに合わせて、小学校の余裕教室等を活用した入所定員枠の拡充を図ります。	●
①-3	学童保育所施設維持管理事業	今後の児童数の増減、多様化するニーズに対応した施設の整備及び維持・管理を行います。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
35,021	35,500	-	0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
0	0	0	0.0%	0.0%	福祉部 保育課

② 青少年の健やかな育成

青少年の社会性の萌芽や新たな気付き、地域の魅力発見につながる機会の創出、また地域・家庭・学校・行政等が連携して青少年の健全育成に資する環境づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
青少年交流事業参加者数	人	子どもフェスティバル及び青少年指導員協議会等による体験学習の参加者数	2,390	2,500	2,500	2,500
「少年の主張」作文参加割合	%	「少年の主張」作文応募者数/対象学年総数(小学校5・6年生及び中学校1・2・3年生)	83.8	84	85	86

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	青少年体験交流事業	子どもフェスティバルのほか、自然体験・生活体験など年間を通じて各種イベント・講座等を開催します。	●
②-2	青少年健全育成事業	下校巡視や市内一斉巡視、店舗等の立ち入り調査を行い、非行の早期発見や犯罪に関わることを未然に防ぐとともに、「少年の主張」作文コンクールの開催やさまざまな媒体を使った広報啓発活動を実施します。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
54	2,500	62	0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
84.0	85	81.2	0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 所管判定 成果の方向性 必要性 有効性 効率性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	学校・地域パートナーシップ事業						72
①-2	学童保育運営事業			67	拡充	・現状の学童保育所における待機児童は0人であるが、児童数の多い校区では学童保育所への入所児童数も多く、次年度は定員数を増員するため、拡充とする。 ・現在、公立小学校の余裕教室を活用できないが、小学校側と交渉中であるほか、余裕教室のない小学校区の場合は、通学路近辺で空き店舗等を探す必要がある。 ・場所が確保できれば学童保育所として整備が必要となるため、予算措置が必要となる。	福祉部 保育課
①-3	学童保育所施設維持管理事業			80	現状維持	・評価指標は達成できる見込みであるため、成果・コストともに現状維持とする。 ・令和6年度以降、下田学童保育所を修繕する予定であり、そのための予算措置は必要と考えられるが、「香芝市個別施設計画、第1期アクションプラン(2017~2026)」内に記載されている中規模修繕に則ったものであるため、成果・コストともに拡充とはしない。	福祉部 保育課
②-1	青少年体験交流事業			59	現状維持	【成果の方向性】 子どもフェスティバルは「個別事業の方向性」で示されたとおり、ふれあいフェスタとの統合等を行うことで、コスト削減を図るだけでなく、より一体的なイベントとして、市民の満足度の高い実施を目指す。 また、情報化が一段と進む中で、子どもたちがスマホやゲームをする機会が増加し、自然体験活動等を行う機会が減少している。こうした時代だからこそ、自然や人と関わり、様々な体験を通して子どもたちの健全な育成を目指すことについては、重要性とニーズは増しているため、引き続きニーズに即した様々な事業を行っていく。 【コストの方向性】 コストを維持しながら、内容の充実を図っていく。	まなび推進局 生涯学習課
②-2	青少年健全育成事業			59	現状維持	【成果の方向性】 本事業は、青少年の非行防止や被害防止を目的としており、重要な事業である。時代の変化に伴い青少年が非行や犯罪に巻き込まれるケースが多様化していることから、これまで行ってきた事業を継続しつつ、時代に即した事業を展開していく。 【コストの方向性】 コストは維持しながら、様々な手法を取り入れ、時代に即した事業を展開していく。	まなび推進局 生涯学習課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 2 事業	拡大 2 事業
B 0 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休止 0 事業	休止 0 事業

政策名	2 健康で自らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	6 地域福祉の推進

☆目指す姿
 多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組みされており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができている。



■ 施策の主な取り組み

① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用することができるように香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室(全8室)の利活用の促進、かしば・屯鶴峯温泉の運営を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
総合福祉センター貸室の利用率	%	年間稼働稼数/年間利用可能稼数	50	55	60	65	35	50	38		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
総合福祉センターサービス提供満足度	%	施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数/全回答者数(センター来訪者対象)	-	70	80	90	83	85	-		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進するとともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進めます。

■ 実施する主な事業

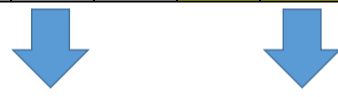
No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域福祉推進事業	市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指数の合計/各事業の評価指数の最大値の合計	70	80	85	90	78	80	-		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいいきいきサロンが設置されている地域数(累計)/設置対象地域数(全47地域)	68.0	78.7	89.3	100.0	65	72	68		0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 (必要性/有効性/効率性)	所管判定 (成果/コスト)	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	総合福祉センター管理運営事業 ・会議室等の貸館業務(委託) ・屯鶴峯温泉の運営業務(委託) ・施設設備の維持管理業務			90	現状維持	総合福祉センターは、市民の福祉及び健康の増進を図るとともに、世代間のふれあいと憩いの場となる施設である。数値化できない効果も含め、必要性・有効性が高い事業を実施しており、運営状況を鑑みながら次年度も引き続き事業を実施していく。	福祉部 社会福祉課	
				72	現状維持			
				100	現状維持			
②-1	地域福祉推進事業 ・社会福祉協議会や各種ボランティア団体との連携による各種イベントの実施(ふれあいフェスタ、ボランティアフェスタ等での開催) ・民生委員に対する研修会を通じた、地域福祉に関する周知啓発			90	現状維持	第3期香芝市地域福祉計画の進捗状況は順調に推移している。ボランティアフェスタなど当該事業は引き続き実施していくが、社会福祉協議会を中心とした小地域福祉活動については担い手不足などが課題となっているため、目標の達成に向けた取り組みの見直しを含めた対応策を検討していく。	福祉部 社会福祉課	
				80	現状維持			
				72	現状維持			



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	7 医療提供体制の充実

★ 目指す姿

すべての世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。



■ 施策の主な取り組み

① 地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	夜間休日応急体制充実事業	葛城地区3市1町と病院で連携し、休日・夜間の診療所運営や二次救急輪番体制実施します。また、救急医療の仕組みやかかりつけ医等に関する啓発活動を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
二次救急の応需率	%	受け入れた件数/受け入れ要請件数	76.0	80	82	84
こども救急電話相談(#8000)の認知度	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「知っている」と回答した人数/全回答者数	93.4	95	95	95

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
61.3	79	—		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
93.5	94.0	94.3		0.0%	0.0%	健康部 保健センター

② 感染症対策の推進

感染症の拡大防止と重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	予防接種事業	「予防接種法」に基づく定期予防接種(一部、公費負担あり)の実施、未接種者に対する勧奨を行う。また平時から、広報紙等を活用した感染症に関する注意喚起を行います。	●
②-2	感染拡大対策事業	市医師会、北葛城地区医師会(香芝市・葛城市・広陵町・上牧町・王寺町・河合町)との連携会議を開催し、有事の際の対応について情報共有するとともに、その体制を整えます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
MR(麻疹風疹)の接種率	%	各接種者数/MR1期(1歳児)、MR2期(年長児)接種対象者数	92.5	93	95	97
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数/65歳以上の人口	52.2	55	57	59

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
93.7	94	47.5		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
57.5	58	0		0.0%	0.0%	健康部 保健センター

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	
今年度の事業実施計画				方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	夜間休日応急体制充実事業			77 80 80	現状維持 現状維持 現状維持	健康部 保健センター
・市民が必要時に利用できるよう、休日診療所について広報等により周知を図る。 ・保健事業の円滑な実施のため、医師会との連携・情報共有を図る。					・円滑な事業運営のため関係機関との連携を図る。市民が必要時に休日診療所を利用できるよう、広報・ホームページ等での周知を充実させていく。(成果の現状維持) ・夜間休日応急体制を確保していくため、コストの方向性については現状維持とする。	
②-1	予防接種事業			77 80 72	現状維持 現状維持 現状維持	健康部 保健センター
・定期予防接種の接種勧奨と確認を行い、接種率の向上を図る。 ・コロナワクチン接種を特別臨時接種として、国の指示に基づき実施する。					・予防接種法に基づき、定期予防接種の接種勧奨や特別接種の業務を継続実施し、接種率の向上を図っていく。(成果の現状維持) ・予防接種事業については、北葛城地区医師会との会議にて委託料が決定されるため、現状維持とする。(コストの現状維持)	
②-2	感染拡大対策事業			80 75 80	現状維持 現状維持 現状維持	健康部 保健センター
・感染症の流行状況を把握し、適正に情報提供を行う。 ・感染拡大を防止する対策を、適切に行う。					・感染症対策として、平時より正確な感染情報、その対処法や予防方法等を引き続き住民に啓発周知していく。また、市医師会や北葛城地区医師会と連携し、有事の際の対応について、現状のコストを維持しながら体制整備を行っていく。(成果の現状維持) ・コストの現状維持	



■ 施策の方向性(改善策)

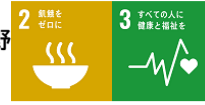
次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	8 健康づくりの推進

★ 目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。



■ 施策の主な取り組み

① 健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自らで守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健(検)診・教室・相談・啓発活動の充実を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	がん検診事業	定期的ながん検診を受けられるよう集団がん検診の実施に加え、検診費用の補助を行います。また、検診の重要性について啓発を行い、がんの早期発見に努めます。	●
①-2	健康づくりに関する教育事業	健康づくり教室、講演会、健康相談等を実施します。また、健康ボランティアを育成し、地域で健康づくりのための体操や知識の普及活動等を行う取り組みを進めます。	●
①-3	医療費適正化事業	40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、特定健康診査及び特定保健指導を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
5大がん検診受診者数	人	5大がん検診の受診者数	6,034	6,200	6,400	6,600
特定健康診査受診率	%	特定健診実施者 / 特定健診受診対象者	35.6	60	60	60

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗			目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
5,875	6,100	1,424		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
35.5	54	7.5		0.0%	0.0%	健康部 国保医療課

② 心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができる環境を整え、自殺予防対策やメンタルヘルズ支援を行い、精神的に安定した生活ができるよう支援します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	精神保健事業	臨床心理士によるカウンセリング、心理検査等を受けることのできる専用窓口を設けます。また、心の健康に関する講演会の開催、ゲートキーパーの育成を行います。	●
②-2	子ども・若者相談支援事業	15歳から概ね39歳までを対象に、自立支援に関する相談窓口を設け、支援します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
自殺死亡率の減少	—	人口10万人当たりの自殺者数(暦年単位)	13.4	11.4	10.2	9.0
子ども・若者相談支援件数	件	相談件数	49	60	70	80

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗			目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
13.9	13.4	—		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
25	27	27		0.0%	0.0%	福祉部 児童福祉課

③ 望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができるようにします。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	食育推進事業	離乳食教室、乳幼児栄養相談等の各種教室及び栄養指導の実施、食生活等に関する講演会の開催を行います。また、夏休みを利用して子ども向けの料理教室等を開催します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
食に関する教室の参加率	%	参加者数 / 離乳食・食生活・料理講習会等の定員総数	57	65	70	75
食事バランスが取れている人の割合	%	食育調査で「1日2回以上食事をとり、主食+主菜+副菜を食べる」と回答した人数 / 全回答者数(20歳以上の市民の方対象)	41.4	55	60	70

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗			目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)			
46.9	50	47.1		0.0%	0.0%	健康部 保健センター
—	—	—		0.0%	0.0%	健康部 保健センター

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 評価	所管判定	方向性の内容(改善策)	
①-1	がん検診事業	胃、肺、乳、子宮、大腸がん検診を実施する。 がん検診の受診率向上を図る。 医療機関での検診が適正な精度で行われているかの管理を行う。 集団がん検診における事務の効率化や住民の利便性を高める。		85	現状維持	令和5年度より、年度の前半は個別検診のみ、後半に集団検診を設定し、実施方法を整備したことで、集団検診の各回の予約人数も増加傾向にある。次年度もこの方式で実施し、受診率の向上に繋げられるよう、事業を進めていく。(成果の現状維持) 令和5年度に集団がん検診のWEB予約を新システムに変更したことにより、事務作業の削減となっており、効率化ができていたため現状維持とする。(コストの現状維持)	健康部 保健センター
				75	現状維持		
				75	現状維持		
①-2	健康づくりに関する教育事業	健康づくり推進会議及び歯科保健推進会議を実施する。 地区組織活動支援事業(ボランティア活動支援及び育成)を実施する。 健康づくりに関する教室、講演会を実施する。		72	現状維持	コロナ禍において、教室、講演会ともに参加者数は減少していたが、令和5年度は講演会について、デジタルサイネージを用いた周知や休日開催したことにより、参加者数は増加した。今後はリモート開催や幅広い年齢層が参加しやすい開催方法を検討し、健康寿命の延伸を目指す。(成果の現状維持)	健康部 保健センター
				75	現状維持		
				75	現状維持		
①-3	医療費適正化事業	受診率向上効果に実績のある「受診費用の無料化」及び「人間ドック・脳ドック助成」を継続実施。 被保険者の健康意識・受診意欲に直接働きかけるため、身近な健康数値の測定や保健指導が受けられる被保険者参加型ヘルスアップ事業を展開。実施においては、受診率が特に低い働き世代の参加を募るため、休日実施。		100	現状維持	今年度より始めた被保険者参加型ヘルスアップ事業(健康測定会)の初回を7月に実施し、参加者から健診に対する前向きな考えを引き出すことができたが、受診率の目標に近づいたために重要な働き世代の参加が少なかった。また、集団健診の予約がまた開始されていないこともあり、「参加者の受診意欲を予約に繋げることができなかった」といった改善点が見つかった。そのため、他県の動向や成功事例などを年齢別で工夫しているものがあれば積極的に取り入れ、測定会実施時期と集団健診の予約開始時期の見直しを検討しつつ、事業を進めていく。(成果の現状維持)	健康部 国保医療課
				55	現状維持		
				74	現状維持		
②-1	精神保健事業	第2次香芝市自殺対策計画を策定する。 臨床心理士、自殺対策や心の健康増進に関する啓発により、心の健康づくり及び自殺予防の推進を図る。		95	拡充	コロナ禍以降、精神の不調や生きづらさを抱える人が増えており、自殺者も全国的に増加傾向にある。従前の自殺対策に加えて、現状や地域の実情を勘案した第2次自殺対策計画を策定し、心の健康づくりの事業機能を強化させる。よって成果の方向性は拡充とする。	健康部 保健センター
				72	拡充		
				87	拡充		
②-2	子ども・若者相談支援事業	香芝市社会福祉協議会に相談支援を委託、毎月支援調整会議で相談受理・支援状況を確認する。支援調整会議は実務者会議を兼ね、更に他機関連携等の支援検討が必要な場合は個別ケース検討会議を開催する。 むきこもり家族の集いに職員を派遣し、実態を把握する。 専門職(臨床心理士)による当事者や家族に対するアウトリーチを含めた相談支援を実施する。(年9回、1ケース上限3回) 専門職(臨床心理士)による支援者への個別ケース等に関するスーパーバイズを実施する。(年2回) 代表者会議を必要に応じて開催し、香芝市の取り組み状況を確認、支援機関の連携を図る。 義務教育課程を終了後の相談窓口の周知として、香芝市立中学校3年生に相談窓口のチラシを卒業式前に配布する。また、市内居宅介護支援事業所に相談窓口チラシを送付し、介護支援専門員への周知を図る。市民への周知啓発として、自治会に相談窓口の周知チラシの回覧を行う。		77	拡充	当事者や家族に対して段階的な支援を進めて行くにあたり、専門職(臨床心理士)による家庭訪問等を実施する必要がある。令和5年度は9回実施し、1ケースあたり1回程度の実施で留まっているが、相談ケースの増加と効果的な支援展開のために、令和6年度は21回(1ケースにつき上限3回まで、上限回数利用の場合、7名分の実施を確保)に増加させるため、成果及びコストが拡大となる。	福祉部 児童福祉課
				85	拡充		
				95	拡充		
③-1	食育推進事業	減塩対策と野菜摂取量の増加に向けた取り組みの充実を図る。 自然に健康になれる食生活の啓発を推進する。 食に関するボランティア活動の推進を図る。		90	現状維持	食に関するボランティアを養成し、スーパー等の住民にとって身近な場所で減塩や野菜摂取量の増加に向けた啓発活動を行うことで、引き続き自然に健康になれる環境づくりの推進を行う。(成果の現状維持)	健康部 保健センター
				75	現状維持		
				67	現状維持		

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性		
	評価	事業	評価	事業	
A	0	事業	拡充	2	事業
B	0	事業	現状維持	4	事業
C	0	事業	縮小	0	事業
			休止	0	事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	9 高齢者福祉の充実

★目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。



■施策の主な取り組み

① 自立支援・介護予防・重度化防止の推進

高齢者が生き生きと自立した生活が送れるよう、地域のニーズや課題、活用できる社会資源を把握し、自立支援・介護予防・重度化防止に向けた各種サービスを展開します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域活動による『通いの場』の設置割合	%	「いきいき百歳体操」が行われた地域数/設置対象地域数(全50地域)	30.0	84.0	94.0	100.0

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	掃除や買い物等の日常生活支援、運動教室や栄養・口腔機能指導等の介護予防サービス等に加え、地域における通いの場の創出、介護予防に関するボランティアの育成等の助け合い・支え合いの仕組みづくりを推進します。また、事業所等の専門職が行うサービスに加え、地域住民や企業等の多様な主体によるサービスも提供できるよう展開していきます。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
4.6	70	48		0.0%	健康部 介護福祉課

② 日常生活を支援する体制の整備

地域包括支援センターの機能を強化するとともに、地域住民や事業者等の協力も得ながら、高齢者の安全で安心な日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の強化を進め、介護等が必要になっても住み慣れた地域で過ごすことができる仕組みづくりを推進します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
地域で孤立せず生活できている高齢者の割合	%	介護保険意向調査で「心配事や愚痴を聞いてくれる人が1人以上いる」と回答した人数/全回答者数(65歳以上の市民の方対象)	89.1	89.5	90	90.5
認知症サポーター養成人数	人	認知症サポーター養成講座に参加した人数(平成22年度からの累計)	3,843	4,800	5,600	6,400

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図ります。介護を必要とする人の家族に対する支援、また、医療・介護サービス事業者等との連携強化等を行い、包括的に支援できる体制を充実させます。認知症の方に対する支援、高齢者の権利擁護及び虐待防止対策等高齢者の安全・安心につながる支援を行います。	●
②-2	介護予防支援事業	地域包括支援センターで、要支援者等の認定を持つ方が、必要な介護サービスを受けられるよう支援します。	●
②-3	生きがい対策事業	長寿を祝うイベント、事業を実施し、高齢者の社会参加を促進し、生きがいのある暮らしの支援を行います。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
89.7	—	89.7		0.0%	健康部 介護福祉課
4,509	4,709	4,628		0.0%	健康部 介護福祉課

③ 介護保険給付の適正化

介護給付費の適正化に取り組み、介護保険制度の財政的な健全性を確保し、安定的な運営を図ります。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
居宅サービス費(1人当たりの給付額)	円/月	居宅サービスに係る給付費を利用者数で除した金額	104,141	110,000	110,000	110,000

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	—

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
102,021	110,000	102,485		0.0%	健康部 介護福祉課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業						
	・住民主体の通いの場・訪問支援や、緩和した基準の訪問サービス及び通所サービスなどを継続的に提供する。 ・地域における通いの場「いきいき百歳体操」の体験説明会を7回以上開催する。加えて、市政出前講座の介護予防への取り組みとして、「いきいき百歳体操」の説明を行うことにより新規地区の立ち上げを目指す。			80	拡大	【コストの方向性】 拡大 いきいき百歳体操への参加者やボランティアの役割を担っていただく前期高齢者を増やすことを目的に、介護予防ポイント事業を令和6年度から実施予定であるため拡大となる。	
②-1	高齢者のための支援体制整備事業			90		現状維持	【成果の方向性】 現状維持 高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい尊厳ある生活を継続していくために、地域包括支援センター機能の充実を図り、地域における包括的な支援を継続していくことにより、今後も今年度と同等の成果を目指す。
	・財産管理や成年後見制度等、権利擁護に関する講演会を開催する。 ・認知症についての理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を実施する。講座の修了者によるチームオレンジ活動を組織化し、具体的な活動を推進する。			80	現状維持	【コストの方向性】 現状維持 事業費は増加するものの、ボランティア等を活用し現状維持とする。	
②-2	介護予防支援事業			82		現状維持	【成果の方向性】 現状維持 自立支援につながるケアプランの作成が行えるよう、自立や重度化防止の視点をケアマネジャーが再認識する機会を継続して持つことにより、今後も今年度と同等の成果を目指す。
	・介護予防支援に関わるケアマネジメント(利用者宅訪問・アセスメント・サービス計画原案作成・モニタリング)を適正に実施できるよう、介護支援専門員に助言等支援を行う。 ・専門職の助言を得る機会として、自立支援型地域ケア会議(年19回)を開催し、要支援者の自立支援に向けて継続的な支援を行う。			90	現状維持	【コストの方向性】 現状維持 高齢者の増加により、事業費も若干の増加が見込まれるが、方向性としては現状維持とする。	
②-3	生きがい対策事業			69		現状維持	【成果の方向性】 現状維持 高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進が図れるよう、地域とのつながりや交流機会を増やすため、継続して事業に取り組むことにより、今後も今年度と同等の成果を目指す。
	・ふたかみクラブ連合会が行う健康づくり・介護予防支援事業を支援する。 ・シニア健康祭を開催し、高齢者自らの社会参加、健康管理・介護予防意識の向上を図る。 ・加齢性難聴の高齢者を対象に、積極的な社会参加及び地域交流の促進等を図るために補聴器購入費の一部を助成する。			85	現状維持	【コストの方向性】 現状維持 高齢者の生きがいづくりや社会参加を高めるための支援として実施している。補聴器購入費用の助成事業についてはニーズ等を見極める必要があるが、今後の方向性としては現状維持とする。	
③-1	介護保険給付適正化事業			100		現状維持	【成果の方向性】 現状維持 適正なサービス利用及び適正な給付費となるよう点検を継続することにより、今後も今年度と同等の成果を維持する。
	・給付費の適正化を目的とし、ケアプラン点検(ケアプランの点検及び例外給付等600件)及び実地指導、縦覧点検・医療情報との突合を行う。 ・要介護認定の適正化を目的として、調査票の点検を実施する。また合議体については、3つある合議体間で評価にばらつきが生じることがないよう、審査会と調整等を行う。(認定調査員・認定審査会委員への研修) ・国保連合会および適正化システムのデータ等を活用し、効率的に適正化事業を実施する。			85	現状維持	【コストの方向性】 現状維持 高齢者の増加により事業費は若干増加するものの、介護給付の適正化を継続していく。	
				72			

■施策の方向性(改善策)

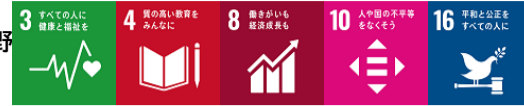
次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	必要	有効	削減	拡大
A	0	0	1	1
B	0	0	4	4
C	0	0	0	0

政策名	2 健康で自らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	10 障がい者福祉の充実

★目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自らしく生き生きと安心して暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した細やかなサービスを展開します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域生活支援事業	総合的な相談支援をはじめ、日常生活用具の給付や入浴、移動等日常生活における支援や意思疎通支援者の派遣等によるコミュニケーションや情報取得に関する支援を行います。また、障がい者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行うなど、障がい者の地域における日常生活や社会生活のニーズに対応した福祉サービスの提供を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿(手話通訳・要約筆記)に登録されている人数(累計)	33	35	37	40
手話奉仕員の養成人数	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数(平成14年度からの延べ人数)	500	550	600	650
障がい者の職場体験受け入れ人数	人	市が職場体験として受け入れた人数	4	8	12	16
優先調達金額	千円	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
32	35	33	0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
547	570	572	0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
4	6	0	0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課
637	800	134	0.0%	0.0%	福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	地域生活支援事業							90
<small>・第3期障がい者計画等策定事業 ・障がい者(児)の日常生活支援(成年後見制度利用支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具給付事業、意思疎通支援事業、福祉ホーム助成事業ほか) ・障がい者の社会参加促進(手話奉仕員及び聞こえのサポーター養成事業、障がい者(児)ふれあいの集い事業) ・精神障害者医療費助成(精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成)</small>			80	現状維持				
			69	現状維持				

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止	0 事業	休止	0 事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	2 健康で自らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	11 生活困窮者支援の充実

★目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会



■ 施策の主な取り組み

① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
支援プラン策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数/一般就労を目標とした支援プランの策定件数	75	80	85	90

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
68	79	100		0.0%	福祉部 生活支援課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
①-1	自立支援促進事業							77
	相談窓口の開設 生活困窮者の就労支援 生活保護受給者の就労支援 生活困窮者に対する住居確保給付金の支給			90	現状維持	引き続きハローワーク他関係機関とも連携し、個々の困窮状況や特性(職歴や病状等)に応じた就労支援プランを作成し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。		
				87	現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

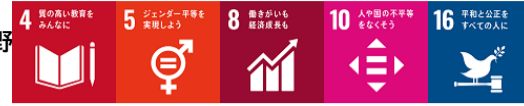
次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	12 人権・多様性の尊重

★目指す姿

誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を発揮できる社会が実現している。



■ 施策の主な取り組み

① 人権啓発の推進と学習機会の提供

人権に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の人権への理解や認識の向上を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人権啓発事業	香芝市人権教育推進協議会や各種団体と連携し、広域活動やセミナー等を開催し、市民へ人権に関する正しい知識や情報を提供します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市民集会参加者数	人	「人権を考える香芝市民集会」の参加者数	150	180	220	250
人権啓発事業認知度	%	人権に関する市民アンケートで「市が実施する人権啓発事業を知っている」と回答した人数/全回答者数(事業参加者対象)	64	70	80	90

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
150	150	150		0.0%	市民環境部 市民協働課
44.1	65	63.6		0.0%	市民環境部 市民協働課

② 男女共同参画によるまちづくりの推進

男女共同参画に関する啓発活動や学習機会の提供を通じて、市民の男女共同参画意識のさらなる醸成・高揚を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会への理解を深めるため、父子を対象とした体験型の講習会の実施や市民を対象とした学習会等を開催します。また、関係機関と連携し、女性の就労支援に係るセミナーの実施や相談窓口を開設します。多様な視点を政策方針に取り入れるため、市の審議会への女性登用を促します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市職員の管理職に占める女性割合	%	市職員の女性管理職数/市職員の管理職数	29.7	30	30	30
市の審議会への女性委員登用率	%	審議会等における女性委員数/審議会等における委員数	26.4	30	30	30

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
31.4	30	37.5		0.0%	市民環境部 市民協働課
23.5	30	26.1		0.0%	市民環境部 市民協働課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	
①-1	人権啓発事業			75	現状維持	市民環境部 市民協働課
	・くらしを考える講座の開催(年6回の予定) ・市民集会の開催(7月開催予定) ・人権啓発パネル展の開催(7月予定)			77	現状維持	
				75	現状維持	
②-1	男女共同参画推進事業			80	現状維持	市民環境部 市民協働課
	・「男性いきいきセミナー」の実施(年2回を予定) ・女性の就労支援に係るセミナーの実施(年2回を予定) ・男女共同参画推進委員会の実施(年2回を予定)			67	現状維持	
				87	現状維持	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	13 地域コミュニティの醸成・活性化

★目指す姿

市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。



■ 施策の主な取り組み

① 自治会活動の支援

円滑な自治振興の実現のため、地域コミュニティの核である自治会の安定的な運営を支援します。また、自治会の協力のもと、地域の安全安心に関わる設備等の設置を促進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自治会活動支援事業	自治会活動や防犯カメラ・防犯灯等の設備の整備に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、自治会及び自治連合会と連携し、自治会未加入者への加入促進を図るとともに、自治会と各種地域団体の連携を促進し、地域活動の活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度実績比)	目標達成度 (R6年度比)	
自治会加入率	%	自治会加入世帯数/4月1日時点の世帯数	87.2	88	90	92	84.1	85.0	83.5		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課
自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	回	自治連合会と地域団体との協働事業実施回数	0	1	2	3	1	1	0		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課

② 市民公益活動団体の支援

ボランティアやNPO等の市民公益活動団体の地域での活動を支援することで、地域の活性化を促進します。また、市民公益活動団体同士が繋がり、発展できるように、コーディネーターの役割を担います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	市民公益活動団体支援事業	市民公益活動団体の活動に対して、補助金の交付等の支援を行います。また、活動報告会や市民主体のイベントを実施することで、団体同士のつながりや市民や市内事業者等、あらゆる主体との相互交流の機会を設け、市民活動のさらなる活性化を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度実績比)	目標達成度 (R6年度比)	
まちづくり提案活動支援事業補助金申請件数	件	まちづくり提案活動支援事業補助金の申請件数	19	25	25	30	16	17	20		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性				担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	自治会活動支援事業					・転入者に自治会加入促進のパンフレットを配布 ・自治会活動及び自治会が設置する防犯灯・防犯カメラ・放送設備・集会所への補助 ・自治連合会と地域団体との協働事業に係る実施方法の調査・検討			100
72	拡大								
85									
②-1	市民公益活動団体支援事業	・まちづくり提案活動支援事業補助金事業実施 ・補助金申請の説明会実施 ・スキルアップセミナー開催		85	現状維持	・さまざまな市民団体が活発に活動することでまちの活性化につながるから、まちづくり提案活動支援事業は今後も継続していく。 ・説明会だけでなく、申請時の個別相談など現在対応していることを継続する。 ・スキルアップセミナーの参加者を増やせるよう広報を工夫し、年2回の開催を継続する。	市民環境部 市民協働課		
72	現状維持								
75									

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 1 事業	拡大 1 事業
B 0 事業	現状維持 1 事業	現状維持 1 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	14 文化芸術の振興・多文化共生

★ **目指す姿**
 多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。



■ 施策の主な取り組み

① 文化の発信・創造・交流の支援

多くの市民がさまざまな文化に触れ、多様な見識や価値観を養うことのできる機会を創出します。また、市民の自主的・創造的な文化活動を支援し、文化振興につなげます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	文化施設管理・運営事業	指定管理者制度による文化施設の維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、市民の文化活動を促進します。	●
①-2	地域交流センター管理・運営事業	指定管理者制度による地域交流センターの維持管理を行い、効率的な運営体制を構築します。また、施設の機能性の向上やイベント開催を通じて、地域での市民交流を活性化します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
ふたかみ文化センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	44.2	45	48	50
ふたかみ文化センター利用者数	人	ふたかみ文化センターの利用者数	89,790	97,000	105,000	108,000
地域交流センター稼働率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	23.6	25	30	35
地域交流センター利用者数	人	地域交流センターの利用者数	48,620	55,000	66,000	77,000

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R4年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
39.5	43.0	35.7		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
64,291	70,000	31,584		0.0%	0.0%	まなび推進局 生涯学習課
27.7	29.0	27.3		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課
48,451	49,000	25,610		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課

② 多文化理解と国際交流の推進

国際理解を通じて、さまざまな文化の在り方や考え、価値観、感じ方の違いを認め合える風土を醸成します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化・国際交流活動事業	国際交流活動を行っている市民、地域団体、事業者等と連携し、セミナーやイベント等を開催します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
国際交流事業実施回数	回	国際交流事業の実施回数	2	3	4	4

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R4年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
6	4	3		0.0%	0.0%	市民環境部 市民協働課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管	
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①-1	文化施設管理・運営事業 <small>・指定管理者による施設の運営、維持管理 ふたかみ文化センターが市民にとって利便性の高い施設であるように、指定管理者との情報共有等を図り、随時市民への対応や維持管理に対応する。 ・施設の利用促進 施設の利便性向上を図り、稼働率向上を図るため、広報等により施設の利用促進を図る。 ・施設の改修、広域連携、次期指定管理者の選定 地下消防設備の改修・更新のため、設計、工事について進める。また施設の広域利用のための管財課、指定管理者との連絡調整、また来年度の指定管理者選定に向けての準備を進める。 ・かしばアートweeeek(美術展覧会) 毎年開催している市美術展に加え、指定管理者とも協働し、文化芸術の機会に触れるイベントを10-11月頃に開催する。</small>						64	現状維持	【成果の方向性】 文化施設については、老朽化に対応する必要があるが、施設の複合化に関する方針により、今後の対応が異なることもあり、その状況により臨機応変な対応が必要となる。また指定管理期間満了(R7.3.31)に伴う次期指定管理者選定については、指定管理期間の設定や委託業務内容について、関係所管と連絡調整して進める必要がある。またかしばアートweeeek(美術展覧会)は昨年初開催し、好評であり、文化芸術に対する市民のニーズも高いことから、引き続き事業内容を改善しながら指定管理者とともに事業を進めていく。 【コストの方向性】 文化施設に関するコストは老朽化に対応する必要がある。アートweeeekについてはコスト維持を図りながら事業内容の見直しも行っていく。
		72	現状維持						
		56	現状維持						
①-2	地域交流センター管理・運営事業 <small>・指定管理者による施設の運営、維持管理 (指定管理者:白鳳台自治会(令和5年度~9年度)) ・指定管理者による施設の利用促進 (指定管理者自主事業として、いきいき百歳体操等を実施予定)</small>		95	現状維持	令和5年5月8日付けで新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、利用者数の増加が見込める。また自主事業等については、中止していた事業の順次再開に加え、新規事業を実施する予定であるので、引き続き指定管理者との連携を取りながら事業を進めていく。		市民環境部 市民協働課		
					80	現状維持			
					90	現状維持			
②-1	文化・国際交流活動事業 <small>・異文化を学ぶ国際交流セミナーの開催 ・CIRIによるInstagramでの発信</small>		75	現状維持	市民の国際理解・国際交流を促進するため、国際交流啓発セミナーを継続して実施する。 ・7月末のCIRI退任に伴いInstagramを10月末に閉鎖予定。		市民環境部 市民協働課		
					69	現状維持			
					74	現状維持			

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

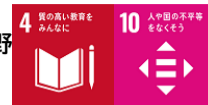
■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	15 生涯学習とスポーツ活動の充実

★ 目指す姿

いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。



■ 施策の主な取り組み

① 生涯学習機会の充実

「いつでも、どこでも、誰でも」学べる生涯学習社会の実現に向けて、多様な講座を開催するなど学習できる機会と場の充実を図るとともに、成果を生かせる場づくりを行います。併せて生涯学習関係団体の育成・交流を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	目標値			
			計画当初 (R1)	R6	R10	R14
中央公民館利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	32.2	35	35	35
中央公民館利用者数	人	中央公民館の利用者数	69,098	70,000	72,000	74,000

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	生涯学習機会提供事業	美術展覧会、生涯学習講演会等の各種講座を開催します。また、生涯学習関係団体の育成・交流の環境づくりを行います。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
24	35	27		0.0%	教育部 生涯学習課
31,374	40,000	22,615		0.0%	教育部 生涯学習課

② スポーツ活動の充実

地域のスポーツ・レクリエーション関係団体等の多様な主体と協働し、スポーツできる機会と場の充実を図るとともに、総合体育館、健民グラウンド等のスポーツ施設の利用を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	目標値			
			計画当初 (R1)	R6	R10	R14
社会体育施設利用率	%	年間稼働枠数/年間利用可能枠数	48.7	51	51	51
社会体育施設利用者数	人	社会体育施設の利用者数	181,146	220,000	230,000	240,000

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	スポーツ活動支援事業	さまざまなスポーツ・レクリエーション教室、イベント等を通年、開催します。また、研修会等の開催によりスポーツ・レクリエーション関係団体の育成を支援します。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
54	56	54		0.0%	まなび推進局 生涯学習課
205,625	246,000	119,797		0.0%	まなび推進局 生涯学習課

③ 図書館機能の充実

市民が幅広い知識や情報を得て、心豊かでいきいきとした人生を送るため、図書館資料や情報の提供だけでなく、学習や活動の場の提供等も行いながら、読書の普及啓発と図書館の利用促進を図り、地域の拠点となる図書館づくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	目標値			
			計画当初 (R1)	R6	R10	R14
蔵書回転率	回	年間貸出冊数/蔵書冊数(蔵書1冊当たりの貸出回数)	1.7	1.8	1.9	2.0
市民図書館来館者数	人	市民図書館の来館者数	-	154,000	159,000	168,000

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	資料情報提供事業	図書・視聴覚資料等の資料や情報を収集・保存し、提供します。また、図書館の利用が困難な方等には、読書レポート等のサービスの充実を図るとともに、電子書籍の充実や移動図書館「はつくる号」の巡回等により、利用環境の整備を推進します。	●
③-2	読書普及活動事業	図書館ではおはなし会や読み聞かせ会等を開催するほか、学校・幼稚園・保育所等を訪問し、ブックトークやおはなし会等を行います。また、各種講座、さまざまな展示イベントを開催します。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
1.6	1.7	0.9		0.0%	まなび推進局 市民図書館
185,882	186,000	99,611		0.0%	まなび推進局 市民図書館

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策)			
①-1	生涯学習機会提供事業				・夏のかしばアカデミー 市民向けで得意なことを教えあう講座を8月20日に初開催。約30講座を中央公民館にて1日で実施。5月講師募集、7月受講生募集、8月開催。 ・家庭教育学級 市内各小学校の家庭教育学級生の補助金手続きや研修等を行う。4月学級生募集、6月合同研修会、8月意見交換会、冬頃合同研修会、随時補助金手続き。 ・社会教育学級及び関連団体 高齢者学級及び市内社会教育関連団体に対する補助金支給を行う。 ・社会教育委員 年3回、社会教育委員会を開催し、市の社会教育に対し意見をもらう。また各種研修会、県関連行事の委員との調整や参加を行う。	A	43	【成果の方向性】 今年度初めて行った「夏のかしばアカデミー」では、市民が講師となり、自身の得意なことを、学びたい市民に教えるという取り組みを行い、生涯学習基本計画の基本目標である「学びの機会」の提供と、学んだことを「活かす」機会の提供を行うことができ、非常に好評であった。引き続き計画の基本目標を達成するため、改善を行いながら、本事業を実施していく。また、社会教育学級及び関連団体への支援については、今年度より「社会教育関係団体補助金」を創設し、既存団体への支援から多様な団体への支援へ方向転換を行った。また家庭教育学級については、学級生減少等により存続が困難な学級もいくつかみられるが、重要な社会教育団体であることから、新たな活動形態の検討を含めて業務を進めていく。 【コストの方向性】 「夏のかしばアカデミー」はコスト(人件費)がかかる事業であるため、改善できるところはコストの削減を行っていくことを検討する。他事業については、コストを維持しながら、事業の改善や新事業を検討する。
		72						
		77						
②-1	スポーツ活動支援事業	・スポーツ推進委員 6月委員選挙を行い、地域でのスポーツ普及活動を行う。また委員会議を年3回程度招集し、今年度事業について協議する。 ・市町村対抗子ども駅伝 駅伝に向け、10-11月頃選考会を実施。3月の本番に向け、スポーツ協会協力のもと、練習会を開催する。 ・ニュースポーツデー 2月頃、スポーツ推進員協力のもと、ニュースポーツ、軽スポーツを集めたイベントを市民向けに実施。 ・かしばスポーツweeeeeeek 10/9のスポーツの自前後をかしばスポーツweeeeeeekとし、10/9に子どもの競技能力向上のためのサッカー教室、10月に親子で体を動かすことを楽しむイベントや体力測定会を開催。また指定管理者と連携し、その他スポーツイベントを開催。	A	85	【成果の方向性】 スポーツ推進委員事業については、今年度より地域でのスポーツ普及を目指し、地域への派遣事業を試行的に行っており、好評である。引き続き、地域への派遣事業の制度化を行い、スポーツ普及を図っていく。 また各スポーツイベントについては、競技力の向上や、スポーツを行う機会や機運の拡大のため、事業を拡大し実施しているが、想定を大幅に上回る申込があり、スポーツに対する需要の高さがうかがえた。引き続き、より多くの方にスポーツを行う機会を創出するため、全体の事業としては拡充する方向である。 【コストの方向性】 スポーツ振興くじ助成金を活用し、コストの拡大を図りながら、事業を拡充し、市民ニーズにこたえていく。	まなび推進局 生涯学習課		
				85				
				72				
③-1	資料情報提供事業	・蔵書の更新 ・電子書籍の充実 ・図書館利用が困難な方の読書環境整備	A	90	・現在、蔵書の更新を進めており、蔵書新鮮度も昨年度同時期より上昇した。しかし、今年度の更新予定冊数は、更新が必要な冊数の4%程度であり、今後も引き続き更新を進める必要があるため、成果・コストとも方向性を現状維持とした。 ・電子図書館利用促進のため、利用手続きを簡素化し、様々な場面での電子図書館の活用を見込み、読み放題パックの導入を行った。その結果、電子書籍の貸出は増加傾向にある。今後は、図書館利用が困難な方の読書環境整備の一環として、電子書籍も含めた図書館資料の更なる利用促進を目的とした仕組みの構築が必要である。 ・パリアフリーサービスについては実施体制を整え、機会を捉えてお知らせしているが、今後も更に周知を進める。	まなび推進局 市民図書館		
				82				
				77				
③-2	読書普及活動事業	・各種イベントや図書のテーマ展示の実施 ・講座開催によるボランティア等の養成と資質向上 ・学校等との連携による子どもの読書関連事業の実施 ・広報やホームページ等での図書館情報の発信	A	80	・各種イベント等は、図書館利用のきっかけとなる場合が多く、市民の来館意欲の向上や図書館利用の継続のため、今後も実施が必要である。 ・コロナから類に移り、特に児童向け定例行事の定員が満席されたこともあり、その平均参加者数は昨年度よりも増加傾向にある。それぞれの行事は、ボランティアとの連携協力等により実施しているため、更なるコスト削減は困難であり、コストの方向性を現状維持とした。 ・一般向けの講座等については、ボランティア養成講座の参加者が多く、目標値を上回る見込みである。また、60代以上の参加者が多くなる傾向にあり、高齢者のボランティア希望者が一定数存在すると考えられることから、今後、ボランティアの定着へ向けた取組みが必要である。また、講座内容も、ニーズを見極めて工夫や調整を行い、効率化を図りながら継続的な実施について検討を進める。	まなび推進局 市民図書館		
				77				
				77				

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性

担当課評価	事業
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性	事業	コストの方向性	事業
拡充	1 事業	拡大	1 事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止	0 事業	休止	0 事業

政策名	3 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策名	16 歴史文化財の保存と継承・展開

★ 目指す姿

気軽に文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。



■ 施策の主な取り組み

① 二上山博物館機能の充実

地域の歴史・文化を学習する拠点として、また情報発信の拠点として、二上山博物館の機能を充実させます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	博物館活性化事業	博物館DX化推進事業により、誰もが楽しく学び、知的体験を享受できるデジタルミュージアムの実現を目指します。また、特別展や講演会・講座の開催、学校との連携による博学連携教育の推進等、多様な年齢層へ本市の歴史文化財の魅力向上に繋げる事業を展開します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
博物館入館者数	人	二上山博物館の入館者数	7,479	8,000	8,500	9,000
博学連携参加者数	人	博学連携参加者数	719	800	850	900

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
7,905	8,000	4,857		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課
1,070	1,100	1,042		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課

② 文化財の保護・啓発

文化財を後世に保存・継承するために必要な措置を講ずるとともに、文化財の魅力を発信し、活用及び啓発を行います。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	文化財保護啓発事業	市内にある文化財の基礎資料の収集・蓄積、遺跡の保護等を行います。また、歴史講座やイベントの開催により、文化財・遺跡の活用を図り、広く普及、啓発活動を行います。	●
②-2	市史編纂事業	市史編さん委員会委員の人選を行い、編集方針や内容・構成などの市史編纂に伴う基本計画を策定するとともに、執筆編集を行う市史編集委員会の委員の人選を進め、市史編纂に向けての組織体制を整備します。	

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
指定文化財の件数	件	国・県・市指定文化財の件数(累計)	42	43	44	45
史跡公園利用者数	人	尼寺庵寺跡学習館の利用者数	1,585	1,600	1,650	1,700

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
43	44	44		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課
1,566	1,600	915		0.0%	0.0%	まなび推進局 文化財課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	
<p>今年度の事業実施計画</p> <p>※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入</p>						
①-1	博物館活性化事業			67	現状維持	まなび推進局 文化財課
<p>・プロジェクションマッピングやAR・VR等の展示設備を導入して博物館DX化事業を進める。 ・特別展や企画展等の各種展示会をはじめ、公開講演会や歴史講座等を開催して文化財への普及啓発に努める。 ・小中学校等と連携して博学連携教育(郷土学習授業)を推進し、郷土の歴史や文化財の普及啓発を行う。</p>			85	現状維持		
			80	現状維持		
②-1	文化財保護啓発事業			75	現状維持	まなび推進局 文化財課
<p>・市内に所在する文化財の維持管理に努めるとともに、文化財保護審議会委員の指導に基づき、保存に向けた施策を講じる。 ・歴史講座や地域学習講座等の開催により、文化財の普及啓発を行う。 ・尼寺庵寺跡史跡公園等の文化資源の活用を通して文化財の普及啓発を行う。</p>			85	現状維持		
			80	現状維持		
②-2	市史編纂事業			67	拡充	まなび推進局 文化財課
<p>・市史編さん委員会委員を組織して市史の編集方針や刊行計画等について審議する。 ・市史編集委員会を組織して市史編集体制を整備する。</p>			85	拡充		
			80	拡大		

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	1 事業
現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	17 商工業の振興

★目指す姿

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生まれ出されている。



■ 施策の主な取り組み

① 企業の活性化

市内における企業の経済活動の活性化や経済規模の拡大を支援し、地域経済の好循環を促すことで、雇用機会の創出を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	企業支援事業	各種補助制度により、市内企業の経営を支援します。また、企業誘致や市内企業の移転・増設等の企業立地を推進します。地域ブランド「KASHIBA+」の認定品の拡充や市内外での認知度の向上のためのプロモーション活動を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
企業立地件数	件	事業計画を認定した企業数(令和元年度からの累計)	1	6	10	14
各種補助金申請件数	件	市補助金4種(設備投資促進補助金、商品開発・販路開拓等支援事業補助金(～R2産学連携促進補助金)、特許等取得支援補助金、環境配慮型企業定着促進補助金)に対する申請件数(令和元年度からの累計)	7	42	70	98
香芝ブランド認定件数	件	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数(令和元年度からの累計)	23	33	43	53

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
7	8	8		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課
32	39	38		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課
25	26	25		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

② 創業の促進

市内企業の競争力の強化や新たな産業構造の構築、雇用創出の原動力となる新規企業の創業を支援し、地域経済の活性化を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	創業促進事業	創業者支援制度や香芝市商工会と連携して実施する創業セミナー等により、市内の創業希望者を育成・支援します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市内での創業者数	人	市の各種制度を活用して創業した人数(累計)	11	66	110	154

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
27	32	-		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①-1	企業支援事業			・市内中小企業を支援するため、企業立地推進事業、商品開発・販路開拓等支援事業、特許等取得支援事業、設備投資促進事業を実施する。 ・かしば産業展を開催することで、市内事業者のPRを実施する。 ・商工会と連携し、地域ブランド「Kashiba+」の認知度向上を目的に、庁舎、および市内商業施設等においてPRを実施する。		3視点 必要性	67
		3視点 有効性	59				
		3視点 効率性	77				
②-1	創業促進事業	・創業促進補助金の他、アドバイザー制度、香芝みらい塾等、創業支援関連事業の実施及び周知を行う。		3視点 必要性	67	【成果の方向性】 商工会及び市内金融機関との連携により、創業支援施策について周知や支援を行い、創業意識を喚起し地域経済の活性化を図る。創業に至るまでの支援を強化する。 【コストの方向性】 現状維持とする。	産業振興局 商工観光課
				3視点 有効性	59		
				3視点 効率性	77		

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	0 事業	拡大	0 事業
A	0	事業	0	事業
B	0	事業	2	事業
C	0	事業	2	事業
	0	事業	0	事業
	0	事業	0	事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	18 農業の振興

★ 目指す姿

農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。



■ 施策の主な取り組み

① 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

後継者の支援や新たな担い手育成により、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地に出没する有害鳥獣による農作物の被害防止に努めます。また、香芝産酒米等の生産拡大を図り、市内外への販路拡大などに取り組みます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	農産物鳥獣被害防止事業	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、鳥獣を捕獲する猟友会との連携を図りながら対応を行います。	●
①-2	地産地消推進事業	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
農業施設の改修達成率	%	改修済み箇所/改修予定箇所	100	100	100	100
市内酒造会社の香芝産酒米利用率	%	香芝産酒米使用量/酒米使用量	13	18	23	28

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100	5		0.0%	0.0%	産業振興局 農林課
15	17	8		0.0%	0.0%	産業振興局 農林課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	農産物鳥獣被害防止事業	・香芝市有害鳥獣防止計画及び香芝市アライグマ・ヌートリア防除実施計画に基づき、有害鳥獣による農作物被害が発生する地域において罠を設置し、捕獲を実施する。		95	現状維持	今後も猟友会や農事実行組合等で構成される協議会が主体となって地域の現状に即した捕獲を実施していく。	産業振興局 農林課
	77			現状維持			
	87			現状維持			
①-2	地産地消推進事業	・香芝市産酒用米の活用拡大を目指して、酒用米の作付け面積の拡大を図る。		67	現状維持	香芝産農産物の地産地消推進と販売促進を基本として、販売PRや食農教育、農商工連携を行い生産者支援を実施していく。	産業振興局 農林課
	72			現状維持			
	95			現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	19 観光の振興

☆ 目指す姿
 観光を目的とした多くの人が訪れることで、市内での消費が促進され、まちにさらなる活気が生まれている。

SDGs該当分野

■ 施策の主な取り組み

① 観光情報の発信

市内の観光情報を発信し、来訪客の増加を図ることで、まちの活力を生み出します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	観光イベント実施事業	市内への来訪客の増加を図るため、観光資源を活用したイベントを実施します。また、パンフレットやSNS等を用いた情報発信、観光に関連したグッズ等の製作を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
観光客数	人	市内4地点の年間推定来訪者数、観光資源を活用したイベント参加者数の合計	40,496	41,000	42,000	43,000	32,388	37,000	21,960		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

② 観光資源の魅力向上

市内の観光資源の魅力を高めることで、さらなる来訪者の獲得やリピーターの創出を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	観光資源魅力向上事業	観光名所への案内標識や解説板の設置、保存を目的とした整備等によって、アクセスや快適性の向上を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
観光客の満足度	%	観光客アンケート調査で「香芝市への観光に満足」と回答した人数/全回答者数(二上山・どんづる峯への来訪者対象)	30	40	50	60	71	50	-		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	観光イベント実施事業 ・葛城地域が有する観光資源を活用したイベント・PRを実施 ・市内観光資源を活用したかしばウォークの開催			80	現状維持	【成果の方向性】 市単独の他、広域連携によるイベントを通じて市内外へ観光資源をアピールし、観光客の流入及びリピーターの増加を目指す。また、過去の参加者アンケート等を踏まえ、満足度向上のために創意工夫する。 【コストの方向性】 コスト効率も高く、現状の予算において事業を実施する。	産業振興局 商工観光課
				75	現状維持		
				90	現状維持		
②-1	観光資源魅力向上事業 ・市内観光資源の認知度向上のための観光アプリの周知・利用者増加の促進 ・どんづる峯でのアンケート調査・整備・清掃事業 ・二上山でのアンケート調査・清掃活動及び登山道の安全点検の実施			80	現状維持	【成果の方向性】 大阪・関西万博に向け、広域連携による周遊観光ルート造成やPR事業の取組が進行している。 観光客の受け入れ体制を整えるため、観光地(どんづる峯など)の整備、情報発信に注力する。 【コストの方向性】 コスト効率も高く、現状の予算において事業を実施する。	産業振興局 商工観光課
				75	現状維持		
				90	現状維持		

■ 施策の方向性(改善策)

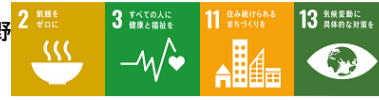
次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	20 災害対策の強化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが地域、行政が一丸となって防災・減災に取り組むことで、災害に対する強靱な基盤ができていく。



■ 施策の主な取り組み

① 災害時緊急体制の確立

災害が発生した状況においても、各々が適切な対応・行動を取り、円滑な初動対応・迅速な復旧活動を行えるよう、市職員の災害対応能力の向上を図るとともに、消防団・自主防災組織との連携を強化します。また、避難所の生活環境の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域防災対策計画関連事業	災害対応のための計画・マニュアルの改正・策定を行います。また、訓練の実施により市職員の災害対応能力の向上を図ります。	●
①-2	防災用品等備蓄事業	女性や要配慮者等への対応、また、新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症等の対策を考慮しながら、非常食や生活必需品等の災害用備蓄品を管理するとともに、避難所の良好な生活環境を確保するための資機材の整備を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
災害用備蓄充足率	%	想定避難者数に対する食糧備蓄率・飲料水備蓄率・毛布備蓄率・指定避難所数に対するポータブル発電機備蓄率の平均値	56	75	90	100	94	95	97	0.0%	0.0%	生活安全部 危機管理課

② 防災・減災対策の強化

局地的豪雨による浸水被害や洪水時の被害を軽減する事業を推進するとともに、市民の意識高揚を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	住宅耐震化啓発支援事業	耐震改修工事補助や耐震診断の制度充実を図るとともに、広報等で市民へ周知し、住宅耐震化の促進を図ります。	●
②-2	浸水対策事業	市管理河川や水路および道路構造を改良する対策事業を実施します。	●
②-3	大和川流域総合治水対策事業	ため池を活用した貯留施設の整備を計画的に進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
住宅耐震化率(耐震シェルター含む)	%	耐震性を有する住宅の数/住宅総数	90	94	96	98	-	-	-	0.0%	0.0%	都市創造部 都市計画課
浸水常襲地域内における家屋浸水解消戸数	戸	減災対策(対策対象戸数298戸)により浸水被害が解消された家屋戸数(累計)	142	142	175	192	142	142	142	0.0%	0.0%	都市創造部 土木課
ため池治水対策率	%	対策量/大和川総合治水対策協議会における計画対策量	40	53	58	60	52	52	52	0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

③ 消防団体制の充実

全国的に消防団員が減少傾向にある中で、消防団の人員を確保し、資機材を充実させることで、地域防災力の中核として活動する消防団の機動力を強化します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	消防団活性化事業	消防団の活動や重要性を広報紙やHP等で発信し、消防団に対して、より一層の理解促進を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
消防団員数	人	消防団の団員数	132	132	132	132	133	132	131	0.0%	0.0%	生活安全部 危機管理課

④ 自主防災力の向上

防災に関する情報提供や訓練の実施支援等を通じて、地域の自主防災力を強化し、自助・共助による災害対応能力の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
④-1	防災意識啓発事業	出前講座の実施や防災訓練の実施支援等を行っていきます。また、防災リーダーの育成支援、各地域に合った避難所運営マニュアルの作成促進等に取り組みます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値					担当所管
				R6	R10	R14	(R4)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	
自主防災組織活動率	%	訓練等を実施した自主防災組織数/自主防災組織数	44	60	70	80	33	50	7	0.0%	0.0%	生活安全部 危機管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	地域防災対策計画関連事業	-防災会議及び分科会による地域防災計画の修正等の業務に係る庶務を実施する。 -洪水浸水想定区域の指定対象に中小河川が追加されるに伴い、ハザードマップを更新する。 -職員に対する防災研修を実施する。		100	現状維持	-災害対策基本法第42条第1項の規定により、市防災会議は毎年、地域防災計画に検討を加え、必要があると認めるときは、これを修正しなければならないことから、防災会議及び分科会による地域防災計画の修正等の業務に係る庶務を継続する必要がある。 -洪水浸水想定区域の指定対象に中小河川が追加されたことに伴い、香芝市総合防災マップの更新業務を実施する必要がある。 -いつ発生するか分からない大規模災害に備えるため、職員に対する防災研修や訓練の実施について今後も継続していく必要がある。	生活安全部 危機管理課	
				90	現状維持			
				87	現状維持			
①-2	防災用品等備蓄事業	-保存年限を迎える備蓄品について、生活困窮者や自治会への配布といった有効活用を図りつつ、更新を行う。		100	現状維持	-非常食等の数を維持させるとともに、毛布等については引き続き予算の範囲内で数を増加させていく必要がある。 -保存年限を迎える備蓄品について、生活困窮者や自治会への配布といった有効活用を図りつつ、引き続き更新を行っていく必要がある。 -備蓄品の保管スペースは慢性的に不足しており、今後も指定避難所となっている小中学校等と調整を行っていく必要がある。	生活安全部 危機管理課	
				90	現状維持			
				87	現状維持			
②-1	住宅耐震化啓発支援事業	-無料耐震診断補助事業、耐震改修工事補助事業の実施 -ブロック塀等撤去工事補助事業の実施 -耐震シェルター設置工事補助事業の実施 -市民フォーラム「住まいの耐震・リフォームの個別相談会と展示会」の開催		95	現状維持	【成果の方向性】 -無料耐震診断事業、耐震改修工事補助事業、耐震シェルター設置工事補助事業の耐震化支援制度を引き続き実施し、木造住宅の耐震化率の向上を図る。 -耐震改修工事補助事業について、総合支援メニューを活用し、補助制度を行う。 -広報紙や文書等により、防災意識の向上と耐震化の必要性・重要性の啓発を行う。 【コストの方向性】 -事業実施に必要なコストは前年度と同程度。また、国庫補助金を活用する。	都市創造部 都市計画課	
				80	現状維持			
				90	現状維持			
②-2	浸水対策事業	-市管理河川及び水路の浸水対策を行う。また、市管理河川に係る事業計画と連携して浸水地域の解消を促進する。		100	現状維持	-近年頻発している集中豪雨等による河川氾濫や洪水等の危険性を低減するため、浸水危険箇所について継続して対策を行う。 -浸水地域の解消に向け、継続して現況調査や原因究明を行い、対策を行う。	都市創造部 土木課	
				100	現状維持			
				95	現状維持			
②-3	大和川流域総合治水対策事業	-事業対象候補地となる市内のため池について、計画・検討を行う。		100	現状維持	-近年頻発している集中豪雨等による河川氾濫や洪水等の危険性を低減するため、ため池を活用した治水対策を行う。 -事業の推進にあたっては、国庫補助金および県補助金を最大限に活用し、財政的負担を軽減していく。	都市創造部 土木課	
				100	現状維持			
				95	現状維持			
③-1	消防団活性化事業	-消防団の活動や重要性を発信するため、「消防だより」を発刊する。 -11月に「防火バレー」、12月末に「年末特別警戒活動(夜警)」を実施する。 -消防団全体及び各分団における訓練を実施する。 -改組に向けた団員の確保、団員数の維持を図る。 -各分団機庫の設備改修等を実施する。		100	現状維持	-消防団員の確保は年々困難となっており、市民への情報発信を継続していく必要がある。 -災害の多発化・多様化等により、消防団の役割は年々重要となっているため、団員に対する訓練事業を継続して実施していく必要がある。	生活安全部 危機管理課	
				82	現状維持			
				95	現状維持			
④-1	防災意識啓発事業	-自主防災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人材の育成事業」「防災訓練などの実施費用」などに対する補助金事業を行う。 -出水期前に広報紙で防災に関する特集記事を掲載する。また、防災週間(8/30~9/5)に合わせ、市役所で啓発パネルの設置を行う。 -市民に対する出前講座や訓練支援を実施する。		100	現状維持	-災害の多発化・多様化等により、自助の要である自主防災組織の役割は年々重要となっているため、自主防災組織の活動を支援する補助事業を継続していく必要がある。 -自助・共助の機運を維持・高揚させるため、防災に係る情報を広報紙や市公式LINEで周知するとともに、訓練やマニュアル作成の支援を継続していく必要がある。 -市民に対する出前講座や訓練支援を継続して実施する必要がある。	生活安全部 危機管理課	
				74	現状維持			
				95	現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 0 事業	現状維持 7 事業	現状維持 7 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休止 0 事業	休止 0 事業

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	21 生活安全対策の強化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができている。



■ 施策の主な取り組み

① 防犯意識の向上

市民の防犯意識の向上を図り、自主的な防犯活動を促進することで、安全・安心なまちづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	防犯意識啓発事業	毎月の地域安全ニュースの発行や年金給付日に合わせた特殊詐欺防止のための啓発活動など、積極的な広報活動を実施することで、市民の防犯意識の向上を図ります。また、香芝警察署や地域安全推進委員等と連携し、地域の見守り活動を実施します。各地域においては、自治会の自主防犯組織を支援するとともに、連携のもと、防犯カメラ・防犯灯等の設置を促進します。(関連補助金に関して、「施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 ①自治会活動の支援」に記載しています。)	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
年間刑法犯認知件数	件	香芝市内における年間刑法犯認知件数(暦年単位)	238	230	220	210	240	230	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
「特殊詐欺」認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「特殊詐欺」といわれる罪種別認知件数(暦年単位)	5	5	5	5	7	5	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
侵入窃盗関係認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「住宅対象侵入窃盗」及び「事業所対象侵入窃盗」といわれる罪種別認知件数の直近4年間の平均件数(暦年単位)	27	25	22	19	19	25	-		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
「子ども110番の家」の協力率	%	「子ども110番の家」の協力世帯数/世帯数	4.1	4.3	4.6	5.0	4.0	4.2	4.0		0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課

② 消費者保護の推進

多様化する消費者トラブルを未然に防止するとともに、トラブルに対して適切な相談対応を行うことで被害を最小限に抑えることに努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	消費生活安全事業	市民からの相談に対し、適切に対応できる相談体制を確保します。また、消費生活に係るトラブルを未然に防止するため、多発しているトラブル例や対処方法について、広報などを通じて啓発します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
消費生活相談の解決率	%	助言・情報提供・斡旋・紹介により処理した件数/年間相談件数	92	92	92	92	95	96	-		0.0%	0.0%	産業振興局 商工観光課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
今年度の事業実施計画						※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	防犯意識啓発事業	・地域安全ニュースを毎月(年間12回)配信し、自治会での印刷・回覧作業協力を得て防犯啓発を行う。 ・市公式LINEの活用による定期的(年間6回以上)な防犯情報の発信、及び犯罪発生が予測される緊急時には注意喚起を行うほか、街頭啓発活動やホームページなどを活用した啓発活動を実施する。 ・高齢者防犯電話購入補助金交付事業の実施・周知により、高齢世帯における防犯電話の設置を推進し、特殊詐欺被害を抑制する。 ・生活安全課所管の防犯カメラのSDカード交換を入札により実施する。 ・市が設置する防犯カメラの管理及び点検を適切に行う。 ・「子ども110番の家」設置協力を自治会に依頼し、設置数の増加を図るとともに、劣化した旗の交換を実施し、子どもの目につきやすい環境を整備する。		90 62 90	拡充 拡大	・不審電話など特殊詐欺被害が多発しており、認知件数は現時点での暫定値が今年度目標値を大幅に超過している。大きな被害をもたらしている現状にあることから、啓発活動に注力する必要がある。 ・引き続き不審電話に関する情報が入り次第、速やかに香芝市公式LINEで注意喚起を行う。 ・啓発回数目標値は達成済だが、特殊詐欺被害が増加していることもあり、出前講座の実施など、回数を増やすだけでなく、効果を重視した啓発を行う。現状の方向性は拡充とする。また、高齢者の特殊詐欺被害を防ぐため、防犯電話購入補助の受付件数を増やすなどコストにおいても拡大とする。	生活安全部 生活安全課	
②-1	消費生活安全事業	・香芝市消費者安全確保地域協議会について、会議等を通して要配慮消費者の実態や情報を共有する。 ・広報紙や市ホームページにて消費者トラブルに関する注意喚起や啓発記事を掲載する。		72 77 87	現状維持 現状維持	【成果の方向性】要配慮者の保護を強化できるよう、消費者安全確保地域協議会において関係者との情報共有を進める。また、広報紙やホームページにて相談事例を紹介する等、トラブルを未然に防ぐため、啓発活動に取り組む。 【コストの方向性】コストの方向性は現状維持だが、相談業務においてインターネット販売のサイト等を確認するためインターネット接続端末を更新する必要がある。	産業振興局 商工観光課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	1 事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	22 交通安全対策の強化

☆ 目指す姿

正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 交通安全対策の推進

香芝警察署と連携した交通安全に関する啓発活動などを行うことにより、市民の交通安全意識の高揚を図り、市民参加型の交通安全活動を推進します。また、駅周辺の自転車駐車場・自動車駐車場の管理や放置自転車等禁止区域での指導・撤去を行い、駐車秩序を保つことで、交通安全の促進を図り、交通違反や交通事故発生抑制に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	交通安全対策啓発事業	香芝警察署や関係団体と連携し、交通安全啓発活動及び交通安全立哨活動を実施します。また、高齢者の運転免許証自主返納等を支援します。	●
①-2	自転車等駐車場管理事業	鉄道駅周辺の交通安全を確保・維持するため、適正で効率的な自転車等駐車場の管理・運営を行います。	●
①-3	放置自転車対策推進事業	放置自転車等禁止区域における指導や撤去を行い、放置自転車の解消を図ります。	●

◆ 指標の達成状況

警察による公表がなくなったため、変更

(R3申請者数)126/(R1返納者数)252が半数であることから、返納者の半数を変更後の目標値とする。

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
交通事故発生件数	件	年間交通事故発生件数(暦年単位)	182	170	165	160
運転免許自主返納者数 高齢者運転免許自主返納支援事業補助金申請者数	件	運転免許自主返納者数(暦年単位) 生活安全課で算出	252 (R1+R2の返納者数)	260 130	270 135	280 140
放置自転車等撤去台数	台	年間放置自転車等撤去台数	117	110	100	90

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
147	170	-		0.0%	生活安全部 生活安全課
138	130	65		0.0%	生活安全部 生活安全課
75	90	54		0.0%	生活安全部 生活安全課

② 交通安全施設の整備

交通安全施設を整備することにより、歩行者の安全確保に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	交通安全施設整備事業	通学路交通安全プログラムなどに基き、交差点付近の防護柵設置などの安全対策を実施します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
施設整備率	%	対策済みの箇所数/通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所数(累計)	85	95	100	100

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
78	85	86		0.0%	都市創造部 公園道路管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	交通安全対策啓発事業					・職員による毎月1回の街頭立哨のほか、地域における交通安全啓発活動を定期的(月に1回以上)に行う。 ・高齢者運転免許証自主返納等支援制度を継続実施・周知し、運転に不安を感じる方の自主返納を促進する。 ・春・秋の交通安全運動期間に合わせ、年齢や属性に応じた交通安全啓発(イベント、チラシや啓発物品の配布等)を行う。 ・市公式LINEやホームページの活用により、定期的(年間6回以上)に交通安全啓発を行う。		77
		85						
		82						
①-2	自転車等駐車場管理事業	(自転車駐車場) ・香芝市シルバー人材センター協議会を指定管理者として運営・管理を行う。 ・現指定管理者の指定期間が令和5年度末で満了となるため、令和6年度以降の指定管理者を選定する。 ・近鉄下田駅地下自転車駐車場の中規模改修について、詳細設計の入札を行い、翌年度工事に必要な資料を入手する。 (自動車駐車場) ・タイムズグループを指定管理者として無人での運営・管理を行う。 ・駐車場の車室の3室を活用し、カーシェアリングを行う。		72	現状維持	・指定管理者の選定については、現在作業中である。 ・自転車駐車場については、コロナ禍以前の水準には達しないものの、令和2年度から令和4年度にかけて回復傾向にあることから、鉄道の利用者数推移など、利用実態を検証する必要がある。 ・近鉄下田駅自転車駐車場については、今年度は実施設計を行っており、令和6年度以降に照明改修など工事着手の予定である。 ・自動車駐車場については、コロナ禍の最中に現在の無人管理による運営を開始し、今年度にはコロナ禍前の利用者数水準まで回復する見込みである。	生活安全部 生活安全課	
				74				
				72				
①-3	放置自転車対策推進事業	・放置自転車移動指導業務を奈良県シルバー人材センター協議会に委託し、鉄道各駅周辺の放置自転車禁止区域内の違法駐輪対策を実施する。 ・自転車保管所における自転車保管・返還業務を香芝市シルバー人材センター協議会に委託し、撤去自転車の保管管理及び返還手続きを速やかに実施する。 ・放置自転車禁止区域における看板及び区域図の状況を把握調査し、看板等の更新を昨年度に引き続き実施する。 ・撤去後一定期間が経過した自転車を処分告示後に売却処分する。		69	現状維持	・引き続き駅周辺における放置自転車移動および保管所における返還業務を委託し、放置自転車対策事業を実施する。 ・令和元年度以降、撤去台数が減少し、アフターコロナ下で放置自転車台数は現状微増である。鉄道利用者数の推移も注視し、今後の事業計画を検証する。 ・自転車等放置禁止区域看板について、劣化状況に応じて改修する。	生活安全部 生活安全課	
				87				
				77				
②-1	交通安全施設整備事業	・通学路安全プログラムに基づき、要対策箇所の整備を行う。		95	現状維持	通学路安全プログラムが更新されるたびに、増加する要対策箇所の整備を継続して実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
				85				
				95				

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休止	0 事業	休止	0 事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	23 環境問題への取り組み強化

★目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。



■ 施策の主な取り組み

① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業(電動式生ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など)や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量/365日/人口	675	533	533	533
ごみの資源化率	%	資源化量/家庭系ごみ総量	14.5	23	23	23

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
63.0	582	-	-	0.0%	0.0%	市民環境部 廃棄物対策課
12.9	17.9	-	-	0.0%	0.0%	市民環境部 廃棄物対策課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、パトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	●
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施します。	●

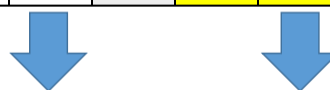
◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23	21	19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38	31	24

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
14	24	14	-	0.0%	0.0%	市民環境部 廃棄物対策課
37	35	10	-	0.0%	0.0%	市民環境部 環境対策課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業 ・新聞、雑誌、ダンボール等、再生利用可能な一般廃棄物を集団回収するPTA等の各種団体に対し、奨励金の交付を実施する。 ・家庭内で発生する生ごみ等の減量のため、電動式生ごみ処理機を購入される方に対し、購入金額の一部の補助を実施する。 ・まだ使える「食器類」を皆さまから集め、必要とするかたに差し上げるリユースコーナー「ええもんクルッと市・コーナー」を開催する。							69
		75	現状維持					
		72	現状維持					
②-1	不法投棄防止啓発事業 ・不法投棄を抑制するため、広報活動及び監視パトロールを実施する。 ・不法投棄を抑制するため、通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。 ・不法投棄を抑制するため、監視カメラの保守点検等の管理を行う。			87	現状維持	重点パトロール地区については、不法投棄は現段階でなし。市内の14カ所(公共施設(道路・公園)での不法投棄が発生したが公園道路管理課と連携をとり速やかに対応できている。	市民環境部 廃棄物対策課	
				85	現状維持			
				90	現状維持			
②-2	生活環境保全事業 ・環境にかかるテーマを広報やHPにて発信し、市民への周知・関心を高める ・所有者への雑草除去通知送付及び所有者から委託された雑草除去の実施 ・公害苦情(騒音・振動・悪臭)の聞き取り及び行為者への改善依頼や公害調査(自動車騒音・環境騒音・河川の空気汚染・水質検査)の実施			90	現状維持	生活環境保全は、市民生活に密接に関わる部分であるため、引き続き必要な事業である。この事業を推進することは、上位施策である「環境問題への取り組み強化」の目標達成にも寄与するものであり、今年度行っている各事業に関しても、以下のとおりとなっているため、現状を維持していく。 ・環境に関する広報等の情報発信は、環境基本計画上の主な取組にも挙げており、季節に合わせた話題で広報テーマ(夏は臭いや雑草・秋からは野焼き等)を決めて掲載をしており、そういった内容に関する問い合わせは多数いただいていることから、継続していくべきと考える。 ・公害苦情やあき地の雑草に関する苦情については、随時受け付けており、対応として、関係者への声掛けや広報啓発等を行い、市民生活の質向上に貢献していく。	市民環境部 環境対策課	
				90	現状維持			
				90	現状維持			



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止	0 事業	休止	0 事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	24 自然環境・景観の保全

★目指す姿
 街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。



■ 施策の主な取り組み

① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①-2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①-3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げなど適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	●
①-4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の除却作業を行い、その削減に努めます。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管	
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)		目標達成度 (R6年度比)
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数(累計)	44	44	77	130	45	45	45		0.0%	0.0%	都市創造部 公園道路管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	街路美化推進事業					・定期的な街路樹の剪定を実施する。		95
	95	拡充						
	90	拡大						
①-2	都市公園維持管理補修事業	・定期的な都市公園内における樹木の剪定を実施する。 ・定期的な公園内における遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施する。		95	拡充	定期的な草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追い付いていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
	95			拡充				
	90			拡大				
①-3	河川維持管理事業	・河川や水路の土砂撤去や草刈り等を実施する。		95	拡充	定期的な土砂撤去やしゃんせつを実施はしているが、堆積が早いので、今後は回数を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
	95			拡充				
	90			拡大				
①-4	屋外広告物規制事業	・屋外広告物の新規、維持、撤去等許認可事務 ・中和幹線の良好な景観形成に努める ・違反広告物の簡易除却活動 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発		67	現状維持	【成果の方向性】 ・引き続き、屋外広告物の許認可事務を適正に行う。 ・これまで行ってきた違反広告物の簡易除却活動により、違反広告物は減少しているが、良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、違反広告物のさらなる減少にむけ、今後も関係機関との協力体制は継続する。 【コストの方向性】 ・引き続き事業を実施していくため、コストは前年度と同程度とする。	都市創造部 都市計画課	
	75			現状維持				
	72			現状維持				

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

	担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
	A	0 事業	拡充	3 事業	拡大	3 事業
	B	0 事業	現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
	C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
			休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

★目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



■ 施策の主な取り組み

① 良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
空き家率	%	空き家数/住宅総数	8.2	8.2	8.2	8.2

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
-	-	-	-	#VALUE!	0.0%	都市創造部 都市計画課

② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰もが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)を運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組まします。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000	65,000	65,000
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000	47,000	47,000
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	1,576	1,576	1,576	1,576
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の数値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	8,913	8,913	8,913	8,913
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679	1,679	1,679
タクシー(西大和交通圏)の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865	865	865

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
41,887	45,500	22,460	-	0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
44,658	47,000	23,767	-	0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
1,290	1,355	-	-	0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
6,904	7,587	-	-	0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
1,680	1,661	-	-	0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課
-	692	-	-	0.0%	0.0%	生活安全部 生活安全課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	空家等対策関係事業						・管理不全の空き家所有者等に対し、所有者等の責務を周知するとともに空き家管理サービス、市場流通の促進を図る等の情報提供を行う。 ・空き家の除却、利活用補助事業の実施。 ・納税通知書の送付機会を活用し、建物所有者等へ空家に関する情報提供を行う。
	85	現状維持					
	82	現状維持					
②-1	地域公共交通事業	・香芝市コミュニティバスについて、老朽化している残り2台の車両を更新し、安全・安心な運行を図る。 ・新たに導入するバス車両について、新たな利用を促すために、ラッピングデザイン案を市立中学校美術部に作成を依頼する。 ・香芝市デマンド交通について、インターネット予約を導入し、予約手段の充実を図る。 ・安全な運行管理を実施するため、定期的に運行事業者との協議を実施する。(月1回以上) ・香芝市地域公共交通計画推進のため、香芝市地域公共交通活性化協議会を開催する(5月・8月・2月・3月開催予定)。 ・令和5年1月より開始したコミュニティバスの実証運行の乗降者データを分析し、令和4年度の香芝市地域公共交通活性化協議会において継続審議となった、停留所の廃止基準について事務局より再度議案を提出する。 ・モビリティマネジメントや出前講座など、市民の声にふれる機会を通じ、公共交通の親和度及び認知度を高め、利用促進を図る。		85	現状維持	・市民の日常の足として生活の充実に寄与していることから、引き続きコミュニティバスおよびデマンド交通の運行を継続していく。	生活安全部 生活安全課
	72			現状維持			
	77			現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

★ 目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。



■ 施策の主な取り組み

① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m ²	都市公園面積/人口	5.1	5.5	6.8	7.9

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
5.2	5.2	5.2		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	恵まれた自然環境の中で、市民の誰もが安全で自由に遊び、多様なスポーツが行える公園を計画的に整備します。	●
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	市内全域の配置を踏まえ、ため池を利用した親水公園など事業地の確保を検討し、公園・緑地の整備を図ります。	●
①-3	香芝総合公園整備事業	周辺環境との一体的整備を基本とし、全体的な整備内容等の見直しを図ったうえで、計画的に事業を推進します。	●

② バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完了率	%	特定事業(バリアフリー化工事等)が完了した事業数/特定事業の全事業数	32.9	54.4	73.8	100

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
47.0	54.4	-		0.0%	0.0%	都市創造部 都市計画課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	バリアフリー推進事業	香芝市バリアフリー基本構想に基づき、特定事業の進捗を管理し、バリアフリー化を推進するとともに、バリアフリー教室の開催などにより「心のバリアフリー」を推進します。	●
②-2	歩道等バリアフリー化事業	段差の解消や視覚障がい者用誘導ブロック・スロープ等の設置により、歩道等のバリアフリー化を推進します。	●
②-3	既存道路バリアフリー化事業	香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区内の道路について、用地取得をともなう歩道の設置や道路構造の改良を行うことで、歩行空間の確保を目指します。	●

③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
駅周辺整備率(踏切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)/整備対象箇所数	68	72	72	76

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
72	72	72		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	駅周辺整備事業	鉄道事業者をはじめとする権利者および関係機関と協議し、合意形成に至った箇所について整備します。	●

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	成果の方向性		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業				・香芝市スポーツ公園(プール区域)において、プール施設の建築工事及び仮設駐車場の造成工事を行う。 ・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。			72
62	現状維持							
87	現状維持							
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	・今年度は事業実施箇所はないが、今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めていく。		75	現状維持	市内全域の公園・緑地の配置や地元要望等を踏まえた中で、新たな街区公園や親水緑地の整備箇所の検討を行う。 ・次年度は設計・工事事業がないため、事業計画額としては縮小したが、将来の整備に向け国庫補助金を最大限に活用できるよう事業を進める。	都市創造部 土木課	
95	現状維持							
87	現状維持							
①-3	香芝総合公園整備事業	・総合公園事業用地取得に係る地権者との協議 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等の実施		82	拡充	【成果の方向性】 ・事業用地の取得が概ね完了することから、事業化に向けて、整備基本構想の策定や実現に向けた方策を記した基本計画の策定を進める。あわせて、計画区域の見直しを含む都市計画変更手続きに向けて関係機関との協議を進めていく。 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等は引き続き実施する。 【コストの方向性】 ・総合公園の整備に向け、基本計画策定等にかかるコストが拡大。	都市創造部 都市計画課	
85	拡大							
82	拡大							
②-1	バリアフリー推進事業	・鉄道駅総合改善事業費補助事業(JR香芝駅)及び鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助事業(近鉄五位堂駅)の実施 ・バリアフリー教室の開催 ・心のバリアフリーに関する広報・啓発 ・バリアフリー基本構想(特定事業計画)の進捗管理		90	現状維持	【成果の方向性】 ・JR香芝駅バリアフリー化事業については、予定通り実施されるよう、事業進捗をJRに適宜確認する。また必要に応じて関係機関と協議を行うとともに、住民に対し当該事業の広報・周知を行う。事業完了後は、速やかな報告書の提出を求めるとともに、補助金を交付、補助金の交付決定については、国・奈良県と協議して実施する。 ・目標達成に向け、バリアフリー基本構想に位置づけた事業の進捗管理を行なう。 【コストの方向性】 ・引き続き事業を継続していくため、コストは現状維持とする。	都市創造部 都市計画課	
90	現状維持							
95	現状維持							
②-2	歩道等バリアフリー化事業	・真美ヶ丘西廻り線歩道のバリアフリー化工事を実施する。		80	現状維持	今後も引き続き、香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区に位置づけられた歩道のバリアフリー化の促進を図る。	都市創造部 公園道路管理課	
95	現状維持							
95	現状維持							
②-3	既存道路バリアフリー化事業	・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。		95	現状維持	今年度は補助金の配分状況により実施できなかったが、次年度は用地取得を行う。 ・高齢者や障がい者の視点に立ったきめ細かい事業計画により、切れ目なく事業を実施し、コスト増大を防ぐ。	都市創造部 土木課	
55	現状維持							
95	現状維持							
③-1	駅周辺整備事業	・近鉄二上駅周辺整備について調査・検討を行う。		95	現状維持	未整備地区について、地元自治会や鉄道事業者との協議を踏まえ、整備方針等を検討していく。 ・調査検討及び協議の結果、整備方針が固まった場合は、国庫補助金等を活用しながら、交通空間としての機能性を最大限向上できるよう事業を進める。	都市創造部 土木課	
87	現状維持							
87	現状維持							

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	数	事業	数	事業
A	0	事業	拡充	1
B	0	事業	現状維持	6
C	0	事業	縮小	1
			休廃止	1

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	27 道路整備の充実

★目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。



■ 施策の主な取り組み

① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7	28.6	30.1

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
27.3	27.3	27.3		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをもとに補修を行います。	●
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡幅整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隅切りなど、状況に応じた整備を図ります。	●

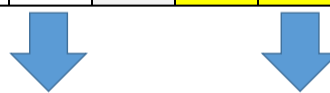
◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの累計)	0	4	8	12

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
10	14	11		0.0%	0.0%	都市創造部 土木課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	主要幹線道路整備事業			100	現状維持	用地取得が完了した箇所から順次、工事に着手する。また、未取得用地については、引き続き交渉を行う。 香芝市スポーツ公園整備事業と同一地権者である用地について、交付金の配分調整を行うなど一体として事業を進める。	都市創造部 土木課	
	・尼寺関屋線及び畑分川線の築造工事を行う。 ・土地・建物等の価格算定を行い、地権者に対して用地交渉を行う。			69	現状維持			
				87	現状維持			
②-1	道路維持管理補修事業			95	現状維持	香芝市舗装長寿命化計画における、分類B,Cである都市計画道路については、劣化度が高い路線の改築を実施して長寿命化を引き続き図る。 また、分類Dである生活道路においては、劣化度に加え、地元要望も加味して、長寿命化を図る。	都市創造部 公園道路管理課	
	・路面性状調査の結果と現状確認を合わせて、緊急度の高い路線から補修を実施する。			85	現状維持			
				95	現状維持			
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業			90	現状維持	今後も引き続き、橋梁、大型カルバート及び歩道橋において5年に1度の定期点検を実施するとともに、点検結果を基に要対策となった橋梁の修繕を実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
	・5年1回の点検実施に該当する橋梁の点検を実施する。 ・点検結果により修繕が必要になった橋梁の修繕を実施する。			95	現状維持			
②-3	道路新設改良事業			100	現状維持	複数の事業箇所における測量や設計を一体的に実施するなど、進捗管理を強化・徹底することにより、事業のスピードアップを図る。 市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木課	
	・市内の狭い道路の整備(拡幅工事等)を推進する。			74	現状維持			
				95	現状維持			



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	事業	拡大	事業
現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	28 上水道の基盤強化

★ 目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靱な水道事業の運営が行われている。



■ 施策の主な取り組み

① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実に努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び最重要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	11.9	28.6	45.3	62.1

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
14.6	14.6	14.6		0.0%	0.0%	上下水道部 工務課

② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上	100以上	100以上

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
101.0	100以上	-		0.0%	0.0%	上下水道部 業務課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策)		
※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入								
①-1	水道施設更新事業 ・配水管の更新事業(15件) ・鉛製給水管取替の実施(39戸)			90 75 75	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 アセットマネジメントの更新計画に基づき、継続的に更新工事を実施する。 【コストの方向性】 施設改良事業を可能な限り集約する等、効率化を行い、工事費の削減に努める。	上下水道部 工務課	
②-1	水道事業の経営健全化事業 ・県域水道一体化に向けて、関係機関と共に諸調整を行う。 ・業務委託の更なる適正化に向けて、業務仕様の検討などを行う。			90 80 80	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 令和7年度の県域水道一体化事業統合に向けて、引き続き細部の検討と協議を進める。 【コストの方向性】 県域水道一体化を見据えつつ、費用対効果や業務の必要性を鑑み、引き続き業務委託の適正化や仕様の調整を行う。	上下水道部 業務課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	0 事業	拡充	事業	拡大	事業
B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
C	0 事業	縮小	事業	縮小	事業
		休廃止	事業	休廃止	事業

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	29 下水道の整備

★目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)/住基人口	73.2	80.4	87.7	95

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
77.7	80.0	77.8		0.0%	0.0%	上下水道部 下水道課

② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人数)/下水道処理人口(下水道を利用できる人数)	90.6	95	96	97

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
90.5	92	91.2		0.0%	0.0%	上下水道部 下水道課

③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数/市内の流域接続点の箇所数	100	100	100	100

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
100	100	50		0.0%	0.0%	上下水道部 下水道課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	公共下水道管渠整備事業 ・穴虫・五位堂・別所・上中・畑・尼寺・北今市・下田西・逢坂地内において下水道管渠3.3kmの整備を実施する。							90
		100	現状維持					
		100	現状維持					
②-1	水洗化促進事業 ・公共下水道未接続者への普及啓発を専門に行う「下水道接続推進員」を雇用し、前年度の接続件数(450件)以上を目標に啓発を実施する。			90	現状維持	・普及啓発による水洗化率の更なる向上が、水質の改善、下水道使用料の増加に寄与することから、普及促進員による活動を継続して実施する。	上下水道部 下水道課	
				95	現状維持			
				100	現状維持			
③-1	下水道維持管理事業 ・流域下水道接続点等21箇所において、水質検査を実施する。			90	現状維持	・引き続き接続点での水質検査を実施し、法定水質基準を遵守した水質維持について努める。	上下水道部 下水道課	
				80	現状維持			
				85	現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性		コストの方向性	
	拡充	事業	拡大	事業
A 0 事業				
B 0 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 事業	縮小 事業	縮小 事業	縮小 事業
	休廃止 事業	休廃止 事業	休廃止 事業	休廃止 事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 101-103ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	30 行財政運営の最適化

★ 目指す姿

行政活動に対する検証と改善が行われ、健全な財政基盤のもと、持続可能な行財政運営が実現している。



■ 施策の主な取り組み

① 総合計画・総合戦略の進行管理

総合計画(総合戦略を含む)に位置付ける施策及び事業に対する行政評価や都市経営市民会議の開催等により、事業の検証・改善を繰り返し行うことで、最適で計画的な行政運営を推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合計画進行管理事業	総合計画(総合戦略含む)に位置付ける施策及び事業の行政評価を毎年度実施し、PDCAサイクルによる効果検証・改善を図ります。また、総合計画(総合戦略含む)の進捗状況や行財政改革等に関して審議や検討を行う都市経営市民会議を運営し、各所管へのフィードバックを行います。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
「第5次香芝市総合計画」における各指標の達成割合	%	目標を達成した指標の数/全指標の数(本指標は除く)	—	80	80	80
「第2期香芝市総合戦略」における各指標の達成割合	%	目標を達成した指標の数/全指標の数(本指標は除く)	—	80	80	80

前年度実績値(R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
48.6	80	—		0.0%	0.0%	企画部 企画政策課
46.9	80	—		0.0%	0.0%	企画部 企画政策課

② 財政運営の健全化

各施策や事業を効率的・効果的に実施するため、財源の確保や将来の財政見通しを立てることにより、健全で持続可能な財政運営を推進します。

■ 実施する主な事業

※参考指標とする理由及び実施する事業を設定していない理由
財政指標は市の全事務事業を適正かつ効率的に実施した結果として表れる数値であり、指標の達成を優先して目指すものではないため、参考とすべき指標として位置付けます。また、特定の事業に係る指標ではなく、市の事業全体の結果に影響される指標であるため、実施する主な事業は設定していません。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目指すべき方向性
市債残高	億円	市債残高	305	減少させる
実質公債費比率	%	収入に対する負債返済の割合を示すための指標	15.2	県内市町村平均値を目指す
財政調整基金残高	億円(%)	財政調整基金残高/標準財政規模	14.6(9.6)	標準財政規模の10%程度以上を確保する

前年度実績値(R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
277		—				財務局 財政課
11.6		—				財務局 財政課
24.2(14.7)		—				財務局 財政課

③ 公有財産の維持管理及び活用

「公共施設等総合管理計画」に基づき、財政負担の平準化を図り、良質で持続可能な公共施設サービスを提供します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	公有財産維持管理事業	施設の安全性や機能性を保つため、定期点検や改修工事等の維持管理業務を実施します。また、「公共施設等総合管理計画」を更新するとともに、個別施設計画の策定・改訂を進め、計画に基づく公共施設の活用等を進めます。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初(R1)	目標値		
				R6	R10	R14
個別施設計画策定数	件	個別施設計画を策定した施設類型数(平成30年度からの累計)	11	13	15	15

前年度実績値(R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値(9月末)	実績値(年度末)	目標達成度(当該年度比)	目標達成度(R6年度比)	
13	13	13		0.0%	0.0%	総務部 管財課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課評価(A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①-1	総合計画進行管理事業				総合計画(総合戦略を含む)に位置付けた事業の行政評価の実施(事前記入:5月、事中評価及び説明会:9月、事後評価:1月) ・都市経営市民会議を開催し、審議結果を所管へフィードバックする。 ・個別事業の方向性に関する検討の実施(経営会議及び都市経営市民会議での審議、次年度検討対象事業の抽出等)		72	現状維持
		72						
		77						
③-1	公有財産維持管理事業	・公共施設等総合管理計画の施設類型方針に基づいた個別施設計画は策定完了しているため、施設類型方針以外の施設の個別施設計画策定を進める。また、引き続き中和・西和広域連携検討会に参加し、公共施設の相互利用に向けて関係市町と協議を進める。		85	現状維持	・総合管理計画に定められている施設類型別方針以外の施設についても個別施設計画の策定を進め、施設ごとの対応方針を定める。また、その対応方針に基づき計画的に更新を行う。 ・中和・西和広域連携検討会に引き続き参加し、公共施設の相互利用に向けて関係市町と協議を進める。 ・施設跡地に関して、サウンディング型市場調査等の実施により、活用方法を検討する。	総務部 管財課	
				80				
				80				

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性				コストの方向性			
	A	B	C	事業	拡充	現状維持	縮小	休業止
A	0	0	0	事業	2	2	2	2
B	0	0	0	事業	2	2	2	2
C	0	0	0	事業	2	2	2	2

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 104-105ページ)

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	31 歳入の確保と財源の創出

★ 目指す姿

市税や保険料が公正公平に負担されるとともに、新たな財源により歳入を確保できている。



■ 施策の主な取り組み

① 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上

公平・公正の観点から市税の適正課税を推進することにより、市民の信頼及び税収の確保を図ります。また、納付環境の利便性向上および納付意欲の向上に向けた取り組みを推進することにより、市税や保険料の収納(徴収)率の向上を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市税収納率(現年分)	%	収納済額/収納すべき額	99.05	99.1	99.2	99.3
国保料収納率(現年分)	%	収納済額/収納すべき額	93.24	95.0	95.8	96.6

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自主納付推進事業(税)	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	—
①-2	自主納付推進事業(保険料)	口座振替やコンビニ納付などの既存の納付方法に加え、キャッシュレス決済などの電子納付環境を整備することで、時間や場所に捉われない納付方法を提供し、納付意欲の向上を図ります。	—
①-3	市民税・固定資産税の課税適正化事業	申告催告、実地調査及び関係官署等への照会などを通じて、賦課の公平化・適正化に継続的に取り組めます。	—

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (%R6年度比)	目標達成度 (%R6年度比)	
99.09	99.1	61.0		0.0%	0.0%	財務局 納税促進課
94.05	94.5	43.34		0.0%	0.0%	健康部 保険料収納課

② 財産調査の強化と適正な債権管理

財産調査の徹底により、適正な債権管理を推進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
滞納繰越額の減少率	%	(前年度滞納繰越額 - 当該年度滞納繰越額) / 前年度滞納繰越額	4.7	4.8	4.9	5.0

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	滞納整理適正化事業(税)	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。	—
②-2	滞納整理適正化事業(保険料)	預貯金や生命保険などの換価可能な財産の調査および消滅時効の管理を行い、差押え・換価・執行停止などを適正に行います。	—

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (%R6年度比)	目標達成度 (%R6年度比)	
-0.04	4.5	—		0.0%	0.0%	財務局 納税促進課

③ 自主財源の確保

本市への寄附を促進し、財源の確保を図ります。また、受益者負担の適正化やネーミングライツ、企業版ふるさと納税、未利用公有地の活用などの新たな財源確保策を検討します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
ふるさと寄附金受入額	万円	ふるさと納税による寄附金受入額	5,110	7,000	8,500	10,000

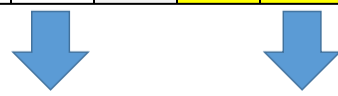
■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	ふるさと寄附金事業	地場産品の発掘・企画によりふるさと納税返礼品の拡充を図り、サイト掲載ページの充実や市外へのPR活動を通して、本市への寄附を促進するとともに、本市の魅力を発信します。	●

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (%R6年度比)	目標達成度 (%R6年度比)	
6,520	7,000	2,096		0.0%	0.0%	企画部 企画政策課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 評価 (必要性/有効性/効率性)	方向性の内容(改善策)			
①-1	自主納付推進事業(税)				・ペイジー口座振替の奨励及びスマホ決済やQRコードを活用した電子納付の奨励(HP、広報、広報お知らせ版、各種通知書(59,000枚)への折込) ・コンビニ収納の啓発、コールセンターによる電話催告(9500件) ・現年度課税分の催告の通知(1800件)及び差押え等滞納処分執行(35件)		85	現状維持
		80						
		67	拡大					
①-2	自主納付推進事業(保険料)	・各通知書に口座振替の案内文書を同封し口座振替率の向上 ・現年度保険料の滞納者に対し(年2回以上)催告書を送付 ・コールセンターによる迅速な初期滞納者対応 ・月一回(月末)の夜間窓口による納付相談 ・滞納処分の具体的事例を明示した文書を作成し催告書等に同封して送付		77	拡充	・事業経費は維持しながら、市と県の電話催告に加え、定期的に現年催告を送付し、引き続き効果的な納付勧奨を行う。(コストの現状維持) ・各期別の督促状に口座振替の案内文書を同封し、口座振替率の向上を図る。 ・催告に同封している滞納処分に至るプロセスを明示した文書の内容を随時見直しながら強化して自主納付を促すとともに、令和6年度より現年保険料についても滞納処分を実施する。(成果の拡大)	健康部 保険料収納課	
				67				
				77				現状維持
①-3	市民税・固定資産税の課税適正化事業	・市民税(個人及び法人)及び固定資産税(償却資産)未申告者の捕捉及び申告勧奨 ・扶養控除等の申告内容の適正化 ・未評価家屋の解消		100	現状維持	・適正な課税を実現するために、各関係機関との連携のもと未申告者を捕捉し、継続的に申告勧奨を行う。 ・継続的に未申告者への申告勧奨を行うため、事業経費は現状を維持する。	財務局 税務課	
				95				
				90				現状維持
②-1	滞納整理適正化事業(税)	・速やかな財産調査と滞納処分(25500件) ・適正な分納計画の履行(720件) ・適正な執行停止の遂行(300件)		85	拡充	・令和6年度より預金調査について、電子照会システム[pipitLINQ]を導入する。ランニングコストが掛かり全体コストも増えるが、従前の方法で掛かっていた郵送代が削減される。(コストの方向性) ・pipitLINQの導入により調査期間が大幅に削減され、今までより効率的に滞納処分を実施できる。これにより、差押等の件数増加が見込まれる。(成果の方向性)	財務局 納税促進課	
				80				
				67				拡大
②-2	滞納整理適正化事業(保険料)	・短期保険証、切替通知、催告書を用いた滞納者との折衝 ・速やかな財産調査・実地調査を行い、適正な滞納処分の執行 ・分納者に対し確実な履行状況管理		70	拡充	経費は維持しつつ引き続き適正な滞納処分の執行を行っていく。(コストの現状維持)また、従来は滞納繰越分のみを滞納処分の対象としていたが、令和6年度より現年保険料についても、催告等により自主納付に至らなかった滞納者に財産がある場合は、速やかに滞納処分を実施する。(成果の拡大)	健康部 保険料収納課	
				67				
				77				現状維持
③-1	ふるさと寄附金事業	・ふるさと納税協力事業者の新規獲得 ・ふるさと納税返礼品の拡充およびブラッシュアップ ・ふるさと納税(企業版ふるさと納税を含む)のPR ・企業版ふるさと納税のメニュー化		90	拡充	・新規返礼品提供事業者の獲得のため、広報紙やSNSで募集案内を発信するとともに、既存返礼品提供事業者とは、中間事業者と協力のうえ連携を取りつつ、返礼品の充実や新規ポータルサイトへの掲載をすることで発信力の強化を図り、寄附額をさらに増加させる。(成果の拡充) ・寄附に伴うコストについては、サイト運営経費や返礼品調達経費など寄附額の増加に伴い必要となるものであり、次年度は新たなポータルサイトを導入し、寄附額増加を目指すため、コストの拡大が必要。(コストの拡大) ・企業版ふるさと納税については、奈良県企業版ふるさと納税連絡協議会を活用して企業への発信力を強化するとともに、マッチングの業務委託やブランチ等で寄附市にゆかりのある企業に対し、PR(パンフレットを送付するなど)をし、寄附金額の拡大を図る。(成果の拡充) ・企業に対し、PRをパンフレットを送付し、寄附金額増加を目指すため、コストの拡大が必要(コストの拡大)	企画部 企画政策課	
				80				
				72				拡大



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

	担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
	A	0 事業	拡充	4 事業	拡大	3 事業
	B	0 事業	現状維持	2 事業	現状維持	3 事業
	C	0 事業	縮小	1 事業	縮小	1 事業
			休廃止	1 事業	休廃止	1 事業

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	32 情報とICTの利活用

★ 目指す姿

ICTを活用し、市民がそれぞれのニーズに合った方法で情報やサービスを利用できている。



■ 施策の主な取り組み

① 市政情報の提供と広報力の強化

市のホームページにおけるアクセシビリティの確保やオープンデータの充実などにより、利用しやすい市政情報の提供に努めます。また、さまざまな情報媒体の活用や効果的な表現による情報発信を積極的に行い、市内外への発信力を強化することで、市のイメージや知名度の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	広報紙発行事業	市民への情報発信媒体として、市政情報や市民のニーズに応じた適切で分かりやすい情報の提供を行い、市の魅力を発信します。	—
①-2	広報及び報道機関連携事業	SNS及びメディアの活用、報道機関への情報提供により、市政情報及び本市の魅力が市内外へ広く発信します。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
市ホームページ「広報」平均アクセス数	件	市ホームページ「広報紙」ページの一月当たりの平均アクセス数	770	960	1,150	1,340
SNSのフォロワー数	人	本市が利用するSNSのフォロワー数の合計	284	560	840	1120
オープンデータ公開数	件	オープンデータとして公開されているデータ数	0	5	10	14

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
1,074	913	1,090	0.0%	0.0%	企画部 秘書広報課
467	525	478	0.0%	0.0%	企画部 秘書広報課
16	18	19	0.0%	0.0%	企画部 ICT推進課

② ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上

Society5.0に対応し、さまざまな行政課題の解決に積極的にAIなどのICTを活用し、業務の効率化および利便性の向上を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	ICT活用事業	行政事務や市民サービス等に積極的にICTを利用することで、業務の効率化や市民の利便性の向上を促進します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
電子申請・施設予約利用件数	件	奈良電子自治体共同運営ポータルサイト「e古都なら」による電子申請・施設予約件数	1,423	2,700	3,000	3,300
AIチャットボット利用件数	件	AIチャットボットの利用件数	0	19,000	20,000	21,000

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
10,982	8,000	6,933	0.0%	0.0%	企画部 ICT推進課
15,908	18,000	7,232	0.0%	0.0%	企画部 ICT推進課

③ 情報セキュリティの確保

ICTを利用した市民サービスや組織内利用システムの安定的な運用のため、組織内の情報機器を不正アクセスやコンピュータウイルス等の脅威から守り、情報ネットワークや職員の使用する情報端末のセキュリティを確保します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	情報セキュリティ対策事業	情報セキュリティに対する職員研修の実施や、セキュリティ対策システムの導入および維持管理などを行います。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
セキュリティインシデント件数	件	セキュリティインシデント発生件数	0	0	0	0

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
4	0	5	—	—	企画部 ICT推進課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定		方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	広報紙発行事業 ・広報かしば、広報かしばお知らせ版を2回、年23回発行する(1月号のお知らせ版は広報かしば12月号と合併)。 ・市民にとってより身近で親しみやすい広報紙となるよう、市民ニーズの把握に向け、アンケート調査を実施する。					95		現状維持
		90	現状維持					
		77	現状維持					
①-2	広報及び報道機関連携事業 ・広報紙や市ホームページ、テレビ、SNS(Facebook・LINE)など、各種媒体を活用し、市内外へ適時適切な情報提供を行う。 ・各種報道機関へ市政情報の積極的な情報提供を行う。		95	現状維持	企画部 秘書広報課	・市ホームページを広報の基幹媒体に位置づけ、SNS等を活用したクロスメディア化を図り、適時適切な情報発信に努める。		
			80	現状維持				
			87	現状維持				
②-1	ICT活用事業 ・電子申請が可能な手続きの拡大。 ・FAQの見直しに伴うAIチャットボットの利便性の向上。 ・デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画の策定。 ・窓口の利便性向上。		80	拡充	企画部 ICT推進課	・e古都ならの電子申請に関しては、申請様式の数および利用件数は増加傾向であり、コスト及び成果の方向性は現状維持とする。 ・AIチャットボットについて、利用状況が安定していることからコスト面は現状維持としつつ、更なるFAQの拡充や周知等により、利用件数の向上を図る。 ・窓口がもつ課題についてデジタル化によって解決を図り、住民負担を低減させた快適な窓口とするためシステム導入を検討する。		
			75	拡充				
			90	拡充				
③-1	情報セキュリティ対策事業 ・全職員の情報セキュリティ研修の受講。		100	現状維持	企画部 ICT推進課	・発生インシデントについてはいずれも人的要因に起因するものであった。そのため、コスト拡大を伴うシステムの拡充ではなく、職員研修の徹底及び定期的な監査等によりセキュリティ意識の向上による対策を図る。		
			64	現状維持				
			100	現状維持				

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 0 事業	拡充 1 事業	拡大 1 事業
B 0 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 事業	縮小 事業
	休廃止 事業	休廃止 事業

令和5年度 行政評価 進捗管理シート

政策名	7 スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)
施策名	33 行政組織の活性化・組織力の強化

★ **目指す姿**
付加価値の高い行政サービスが提供できるよう、職員一人ひとりが知識・技能・意欲の向上に努めている。



■ 施策の主な取り組み

① 適正な人事評価

評価基準を充実させ評価者に依存しない評価と昇任等へ反映できる制度を確立し、職員の育成と士気高揚を図ります。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	人事評価適正化事業	評価指標の細分化や適正化を進め、公正な人事評価を実現するとともに、これを昇任等に確実に反映します。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
人事評価アンケート調査満足度	%	人事評価アンケートで「良い」「とても良い」と回答した人数/全回答者数(市職員対象)	—	70	80	90

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
69	70	—		0.0%	0.0%	企画部 人事課

② 職員研修の推進

タイムマネジメントやリスクマネジメントの他、法律的素養及び接遇力の向上に重点をおくとともに、時勢に応じて求められる能力の向上に資する研修を実施します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	研修推進事業	個々の職員への重要と思う内容や分野の調査を踏まえた上で、より効果的な研修を企画・実施するとともに、その他必要となる研修の回数・内容の拡充を図ります。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
研修実施回数	回	人事課主催の研修実施回数	10	11	12	12

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
12	12	5		0.0%	0.0%	企画部 人事課

③ 効果的な人員配置

各法令等の制定・改正・廃止等や社会動向を踏まえた上で必要な人員を見定め、正規職員のみならず、各種人的資源を活用し、より効果的・効率的な人員配置を目指します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	超過勤務時間数削減推進事業	超過勤務の実態把握に努め、適宜、適切となるよう人員の配置を見直します。	—
③-2	ヒアリング調査事業	本人またはその上司・同僚等から職員の不調につながる事象の通報があった場合に、必要と考えられる場合に本人を含む関係者へヒアリング調査を行い、本人へのフォローアップと不調因子の改善、その発生の防止を図ります。	—

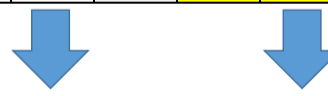
◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
超過勤務時間数	時間	選挙や災害対応を除く超過勤務の総時間数	38,000	37,240	36,100	34,200
メンタルヘルス不調者数	人	メンタルヘルス不調による病気休暇取得者数	7	5	3	0

前年度実績値 (R4)	今年度の進捗					担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該年度比)	目標達成度 (R6年度比)	
46,520	45,100	28,933		-76.1%	0.0%	企画部 人事課
6	5	9		-128.6%	0.0%	企画部 人事課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価		今後の方向性		担当所管
		実績と課題	担当課評価 (A/B/C)	3視点 所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	人事評価適正化事業 人事評価システムによる入力方法の理解度、人事評価の満足度等について確認するため、人事評価アンケートを実施し状況確認を行う。			85	現状維持	人事評価システムをすべての職員が活用できるよう方法を検討する。また、システムの活用方法について未だ多くの問い合わせがあることから、より詳細なマニュアル作成を行う。 アンケート内容をもとに評価指標について実情に合った指標であるか適宜検討する。
				67	現状維持	
				67	現状維持	
②-1	研修推進事業 職員の事務能力や法務能力等の専門知識の向上を進めていくために、研修計画に基づき、引き続き必要な研修の実施を行えるよう進めていく。			80	現状維持	研修センターで取り扱っていない研修や、必要性の高い研修(コンプライアンスや個人情報等)について適宜実施する。また、職員の研修における満足度を高めるためには委託業者の選定について検討する。
				80	現状維持	
				67	現状維持	
③-1	超過勤務時間数削減推進事業 超過勤務時間について、課としての優先順位や協力体制、業務分担の見直しを促しながら、超過勤務時間数の低減に努めていく。			85	拡充	超過勤務の状況について所管にヒアリングを実施しているが、未だ時間外勤務時間数は多い現状となっているため、職員一人一人の意識改善や、管理職を対象にマネジメント力向上に関する研修を行うなど、超過勤務時間の削減を図る。
				67	現状維持	
				72	現状維持	
③-2	ヒアリング調査事業 職員に対する健康相談室の実施について、周知啓発を進めるとともに、職員からの相談がある場合や、超過勤務時間の多い職員、また高ストレス者に対する面談を産業医と連携を図りながら適宜行い、職員にとって働きやすい環境に努めていく。			85	現状維持	健康問題に伴う休職者が引き続き多い傾向であることから、健康相談室や共済組合が実施する事業の周知に注力する。
				75	現状維持	
				72	現状維持	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	事業
現状維持	3 事業	現状維持	4 事業
縮小	事業	縮小	事業
休廃止	事業	休廃止	事業

令和5年度評価指標管理シート

Table with columns for evaluation items, indicators, and results. Includes sub-headers for R1-R6, R1-R6, and R1-R6. Rows include categories like '妊産婦の健康づくりの推進', '乳幼児の健康づくりの推進', '子育て家庭への支援', etc.

指標 No	評価種別	評価対象名	担当部署	担当所属	指標名	単位	評価の方向	マイナス 指標の理由	算出方法(指標説明)	データの出自	単年・ 累計	指標の 種類	R1	R2	R3		R4		R5		R6		県内順位(「奈良いちへり」)						備考	総合戦線における位置づけ				位置付け 無し									
													実績値 (年度末)	実績値 (年度末)	目標値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該 年度比)	実績値 (9月末)	目標達成度 (当該 年度比)	目標値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該 年度比)	目標値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (当該 年度比)	把握の 可否	範囲 (39市 町村・ 12府)	順位							(1)稼働 率	(2)つな がりひの 流れ	(3)産 出-子育 て	(4)魅力					
																											R1	R2		R3	R4	R5	R6										
31	その他	自主納付推進事業(保険料)	健康部	保険料収納課	介護保険料口座振替利用率	%	+		現年度分保険料口座振替による納付件数/現年度分保険料(普通徴収)件数	課内資料	単年	成果指標	25.1	25.1	25.1	19.7	25.36	101.0%	100.2%	25.5	19.2	24.83	97.4%	98.1%	25	16.5															○		
32	その他	広報紙発行事業	企画部	秘書広報課	SNSでの発信回数	件	+		広報紙発行に関するSNSでの投稿件数	【04 データ統計】Facebook統計	単年	活動指標	23	23	23	12	23	100.0%	100.0%	23.0	12	23	100.0%	100.0%	23	12																○	
32	その他	広報及び報道機関連携事業	企画部	秘書広報課	LINEのお友達数	人	+		本市が運営するLINEのお友達数の合計	【04 データ統計】LINE統計	単年	成果指標	0	1,690	15,000	24,945	30,058	200.4%	76.3%	31,000	31,803	32,969	104.7%	83.7%	35,350	33,614																○	
32	その他	ICT活用事業	企画部	ICT推進課	電子申請可能な手続・申込数	件	+		電子申請システムによる電子申請手続件数	電子申請システム	単年	活動指標	28	33	35	56	100	285.7%	250.0%	50.0	90	150	300.0%	375.0%	150	134																	○
32	その他	ICT活用事業	企画部	ICT推進課	AIチャットボット登録質問数	件	+		AIチャットボットに登録されている質問数	AIチャットボット	累計	活動指標	0	2,026	2,050	2,150	2,149	104.8%	97.7%	2,200.0	2,204	2,236	101.6%	101.6%	2,300	2,774																○	
32	その他	情報セキュリティ対策事業	企画部	ICT推進課	ウイルス検出数	件	-	維持	ウイルス検出数	ウイルスバスター管理サーバー	単年	活動指標	0	2	0	0	2	—	—	0.0	1	1	—	—	0	0																○	
33	その他	人事評価適正化事業	企画部	人事課	評価指標細分化進捗率	%	+		細分化指標の作成進捗率(毎年度末)	細分化指標作成工程表(Excel)	単年	活動指標	—	—	70	70	70	100.0%	70.0%	80.0	80	80	100.0%	80.0%	80	80																○	
33	その他	研修推進事業	企画部	人事課	調査実施回数	回	+		調査実施回数(毎年度末時点)	研修管理ファイル(Excel)	単年	活動指標	0	0	1	0	1	100.0%	100.0%	1.0	0	1	100.0%	100.0%	1	0																	○
33	その他	超過勤務時間数削減推進事業	企画部	人事課	超過勤務時間数調査	回	+		調査回数(毎年度末時点)	超過勤務時間数調査ファイル(Excel)	単年	活動指標	—	12	12	6	12	100.0%	100.0%	12.0	6	12	100.0%	100.0%	12	6																	○
33	その他	ヒアリング調査事業	企画部	人事課	ヒアリング調査件数	件	+		ヒアリング調査件数(毎年度末時点)	ヒアリング記録簿(Excel)	単年	活動指標	—	7	8	0	10	125.0%	100.0%	10.0	0	4	40.0%	40.0%	10	0																	○